

第 3 期
宝達志水町人口ビジョン
(案)

令和 7 年 3 月

宝 達 志 水 町

<目次>

1. 第3期宝達志水町人口ビジョンの策定にあたって.....	1
1) 策定の背景・目的.....	1
2) 対象期間.....	2
2. 人口の現状分析.....	3
1) 総人口と年齢別（3区分）人口の推移.....	3
2) 性別・年齢別（3区分）人口の推移.....	6
3) 人口の自然動態・社会動態.....	12
3. 通勤・通学者の状況.....	17
1) 通勤・通学者の状況.....	17
4. 産業別就業者数の推移.....	19
1) 産業別就業者数の推移.....	19
5. 人口の現状と課題.....	21
1) 年齢別（3区分）人口の課題.....	21
2) 性別・年齢別（3区分）人口構成の課題.....	21
3) 自然動態・社会動態の課題.....	21
6. 人口の将来推計.....	22
1) 人口の将来推計.....	22
7. 目指すべき将来の方向.....	34
1) 目標人口.....	34
2) 目標人口の実現に向けて.....	34

1. 第3期宝達志水町人口ビジョンの策定にあたって

1) 策定の背景・目的

2008年（平成20年）に始まった日本の人口減少は地方を中心に急速に進み、地方では地域経済の縮小、雇用の減退、生活関連サービスの低下を招き、さらなる大都市圏への人口流出を引き起こす悪循環に陥っています。

このような状況を食い止めるため、国は、2014年（平成26年）9月に「まち・ひと・しごと創生法」を成立させ、同年12月に今後目指すべき将来の方向を提示する「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と、今後5か年の目標や施策、基本的な方向を提示する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定されました。さらにその後、2019年（令和元年）12月に「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を発出し、現在では、デジタル技術を活用した地方の社会課題の解決及び新たな価値の創出を目的として、2022年（令和4年）12月に「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定しました。

本町においては、1990年（平成2年）より人口減少が始まっており、国の動きを受けて第1期、第2期の「宝達志水町人口ビジョン（以下、「人口ビジョン」という。）」と「宝達志水町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、「総合戦略」という。）」を策定し、人口減少に対する対策や地域活性化に向けた取組を進めてきました。しかし、第2期総合戦略の策定後も本町の人口減少は続いており、今後も更なる人口減少が予測されます。そのため、本町においても、これまでの地方創生の取組を継承・発展させていくことが必要です。

そこで、第3期の人口ビジョンは、新たな総合戦略に基づく地方創生を推進し、「第2次宝達志水町総合計画（以下、「総合計画」という。）」で掲げるまちづくりのテーマ「育てよ！町の宝」の実現に向けて町一丸となって取り組む中、より実現可能性がある人口減少対策を導き出すことを目指して策定します。

2) 対象期間

対象期間：2025 年（令和 7 年）～2065 年（令和 47 年）

人口ビジョンにおける長期ビジョンの対象期間は、第 2 期人口ビジョンの対象期間である 2060 年（令和 42 年）から 5 年先の 2065 年（令和 47 年）とします。

また、人口目標の設定にあたっては、2020 年（令和 2 年）3 月に策定した「総合計画」と 2025 年（令和 7 年）3 月に策定する「総合戦略」との整合性を図りつつ、国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という。）推計に準拠し基礎値としていきます。

2. 人口の現状分析

1) 総人口と年齢別（3区分）人口の推移

本町の総人口は、国勢調査結果をみると、1980年（昭和55年）以降は、1985年（昭和60年）に若干増加したものの、その後は一貫して人口減少となっています。一方、石川県全体は2005年（平成17年）から減少傾向です。

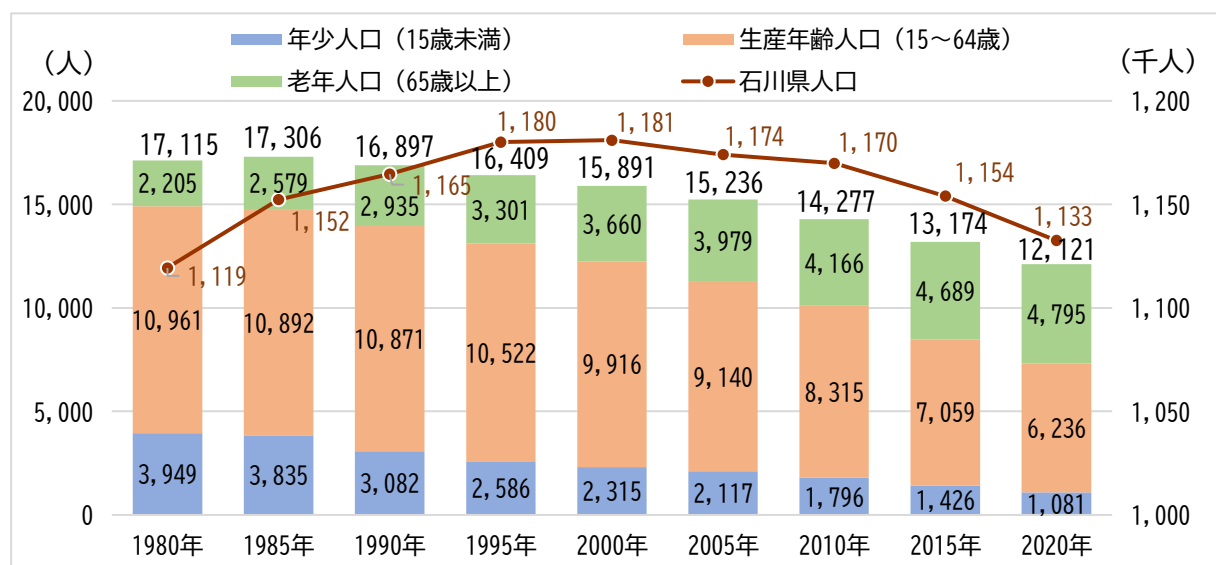
総人口の推移は、1980年（昭和55年）には17,115人でしたが、2000年（平成12年）では15,891人と1,224人（▲7.2%）減少し、その後も2020年（令和2年）には12,121人となり、さらに3,770人（▲23.7%）減少と、この40年間で総人口は4,994人（▲29.2%）減少しています。

これを、年齢3区分別にみると、15歳未満の人口（以下「年少人口」という。）は、1980年（昭和55年）の3,949人から、2020年（令和2年）には1,081人へと、この40年間で2,868人（▲72.6%）減少し半数以下となっています。

また、15歳から64歳の人口（以下「生産年齢人口」という。）では1985年（昭和60年）の10,961人から、2020年（令和2年）の6,236人へと、この40年間で4,725人（▲43.1%）減少し、約3分の2以下となっています。

一方で、65歳以上の人口（以下「老年人口」という。）は1980年（昭和55年）の2,205人から、2020年（令和2年）には4,795人へと、この40年間で2,590人（117.5%）増加し、2倍以上となっています。

【年齢3区分別人口の推移】

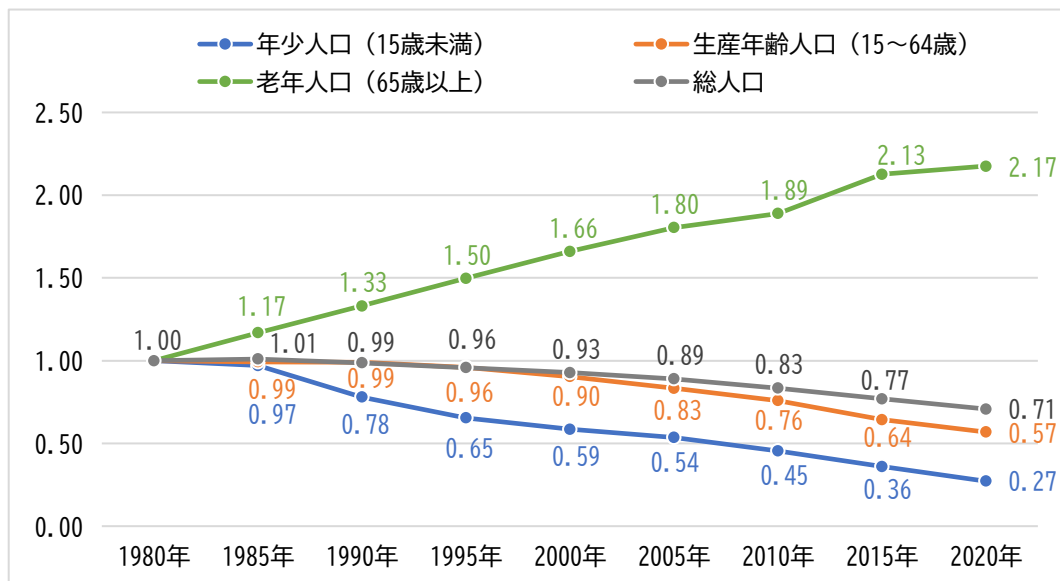


出典：国勢調査

※グラフ内の本町の総人口は年齢不詳を含むため、年齢別3区分人口の合計と一致しない場合がある

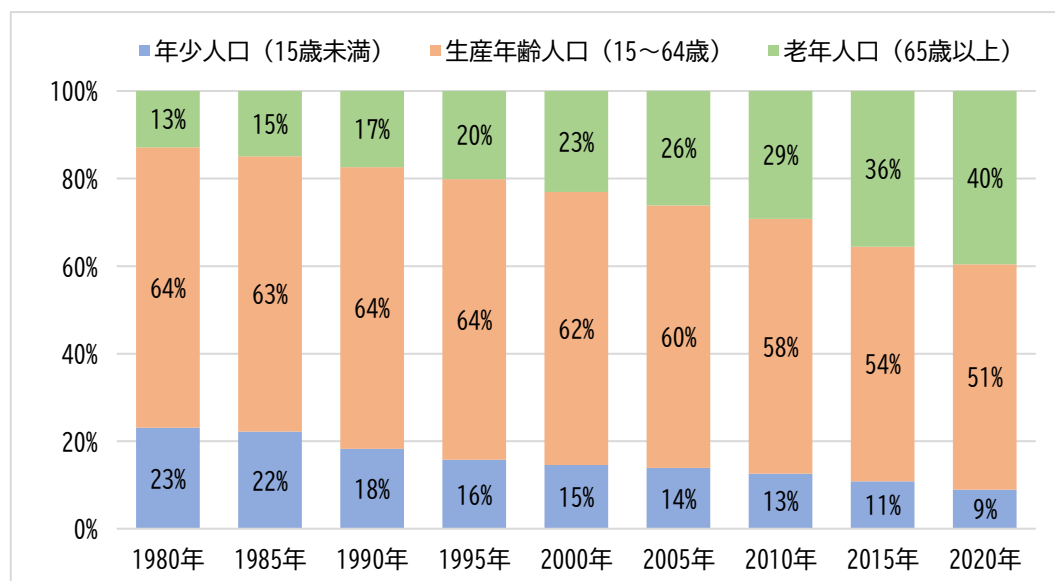
1980 年（昭和 55 年）人口を 1.00 とした人口推移をみると、1980 年（昭和 55 年）と 2020 年（令和 2 年）の比較において、高齢人口のみが増加傾向にあり、2 倍以上となっています。一方で、年少人口は著しく減少し、約 3 割となっています。

【1980 年（昭和 55 年）人口を 1.00 とした人口推移】



出典：国勢調査

【年齢 3 区分別人口割合の推移】



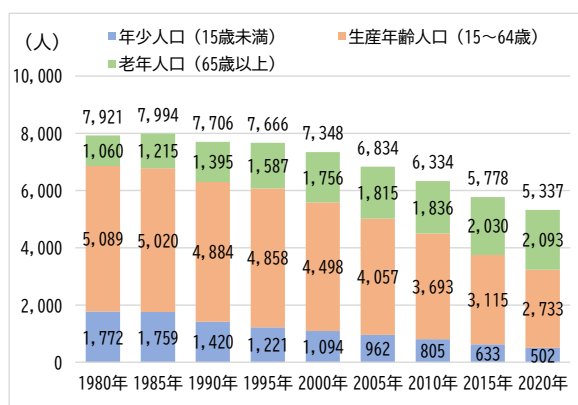
出典：国勢調査

年	年少人口 (15歳未満)		生産年齢人口 (15～64歳)		老年人口 (65歳以上)		人口総数	
	人	%	人	%	人	%	人	%
1980年	3,949	23	10,961	64	2,205	13	17,115	100
1985年	3,835	22	10,892	63	2,579	15	17,306	100
1990年	3,082	18	10,871	64	2,935	17	16,888	100
1995年	2,586	16	10,522	64	3,301	20	16,409	100
2000年	2,315	15	9,916	62	3,660	23	15,891	100
2005年	2,117	14	9,140	60	3,979	26	15,236	100
2010年	1,796	13	8,315	58	4,166	29	14,277	100
2015年	1,426	11	7,059	54	4,689	36	13,174	100
2020年	1,081	9	6,236	51	4,795	40	12,112	100

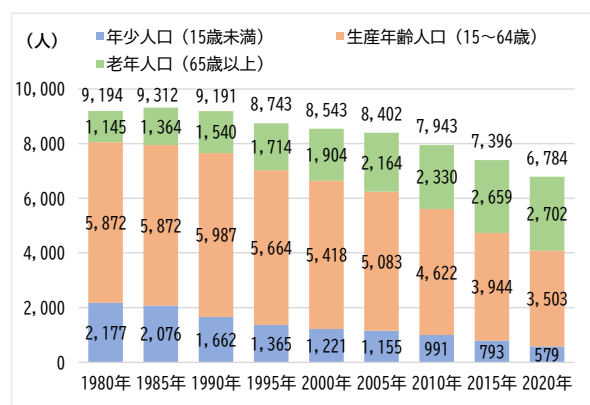
出典：国勢調査（年齢不詳は除く）

参考：旧町別人口推移

【年齢3区分別人口の推移（旧志雄町）】

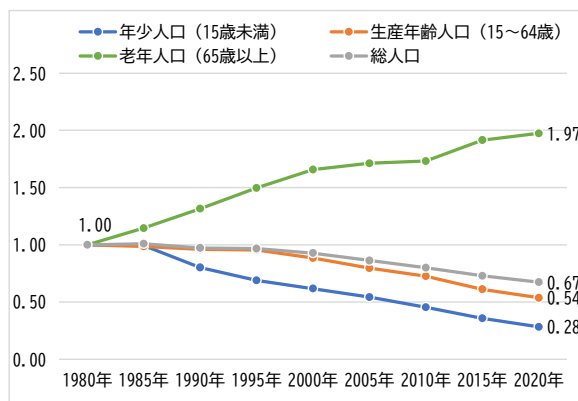


【年齢3区分別人口の推移（旧押水町）】

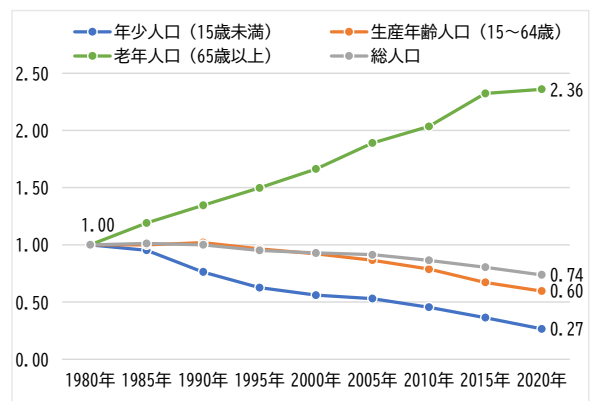


※グラフ内の本町の総人口は年齢不詳を含むため、年齢別3区分人口の合計と一致しない場合がある

【年齢3区分別人口増減率の推移（旧志雄町）】



【年齢3区分別人口増減率の推移（旧押水町）】



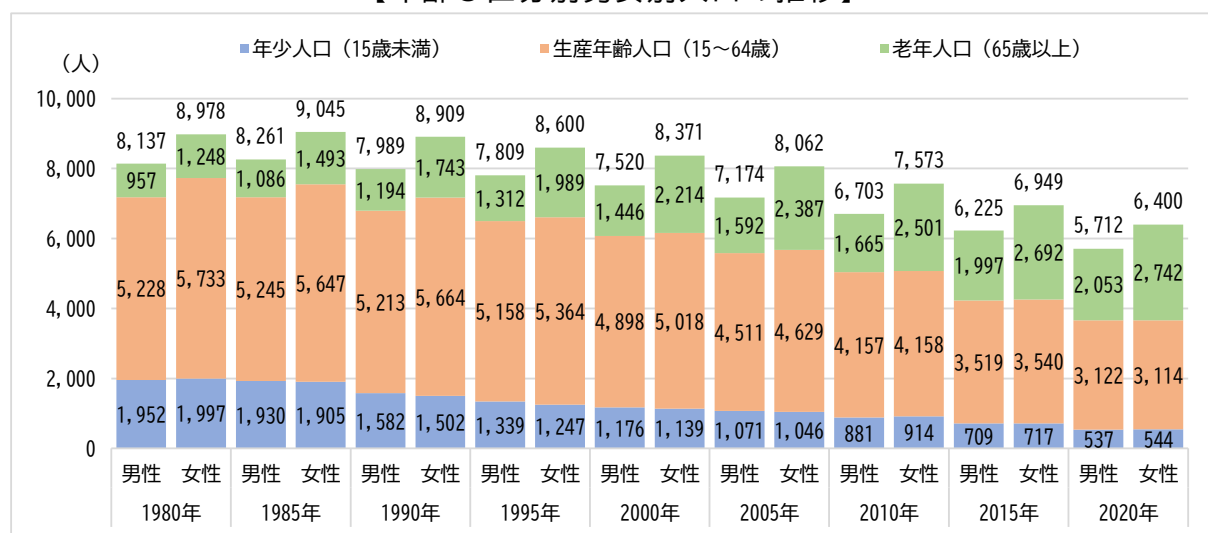
出典：国勢調査

2) 性別・年齢別（3区分）人口の推移

年齢別（3区分）人口の推移について、男女別人口でみると、年少人口ではわずかな差でほぼ男女が拮抗しており、生産年齢人口では、1980年（昭和55年）以降、女性が若干多い傾向が続いていましたが、2020年（令和2年）には男女で同数程度となっています。

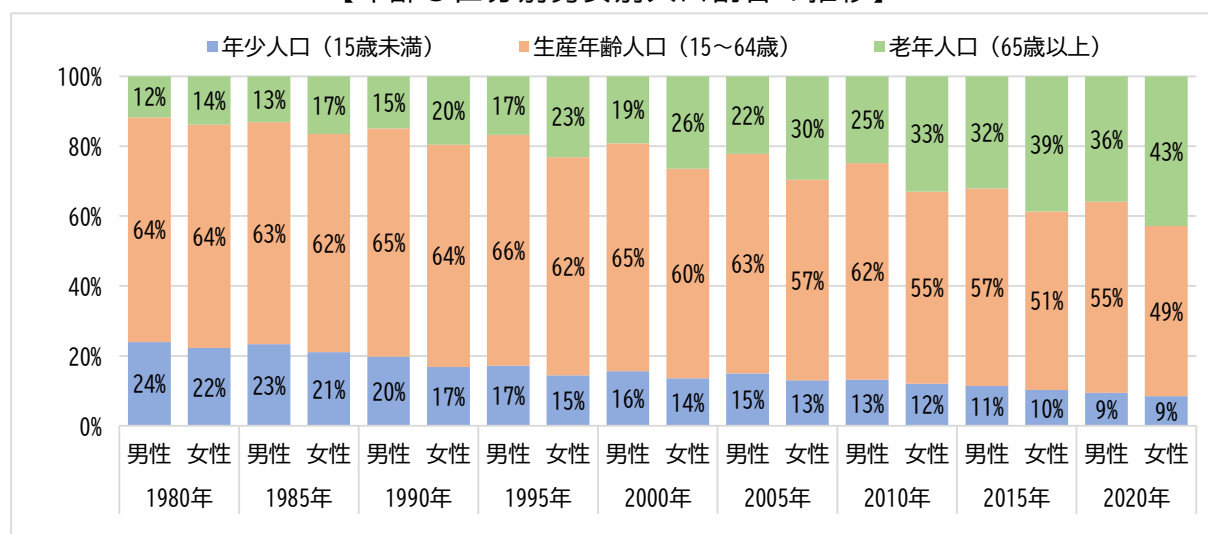
老年人口では、1980年（昭和55年）以降、一貫して女性が多いという結果となっています。また、男性も女性も老年人口が増加している一方で、年少人口や生産年齢人口は減少しています。

【年齢3区分別男女別人口の推移】



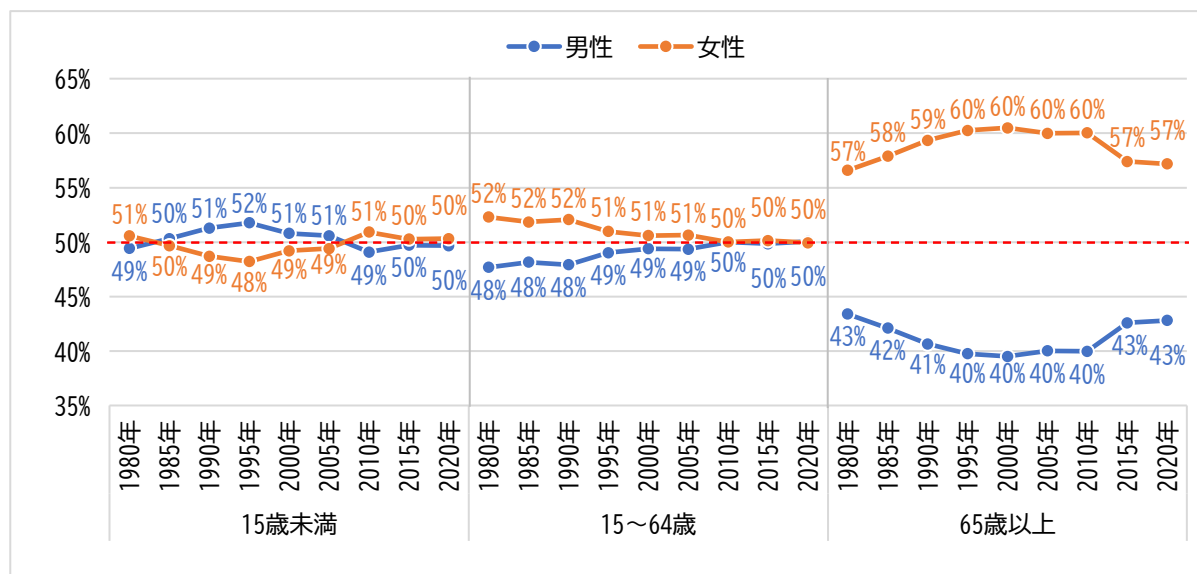
出典：国勢調査

【年齢3区分別男女別人口割合の推移】



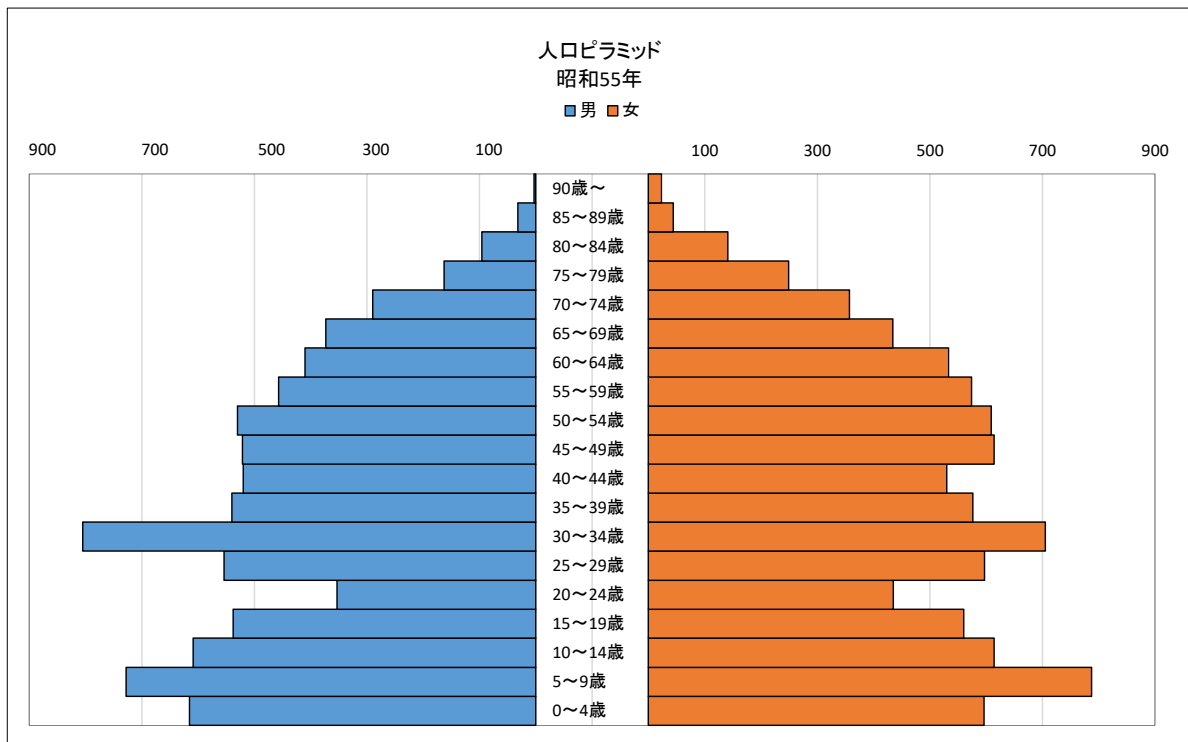
出典：国勢調査

【年齢3区分別男女割合の推移】



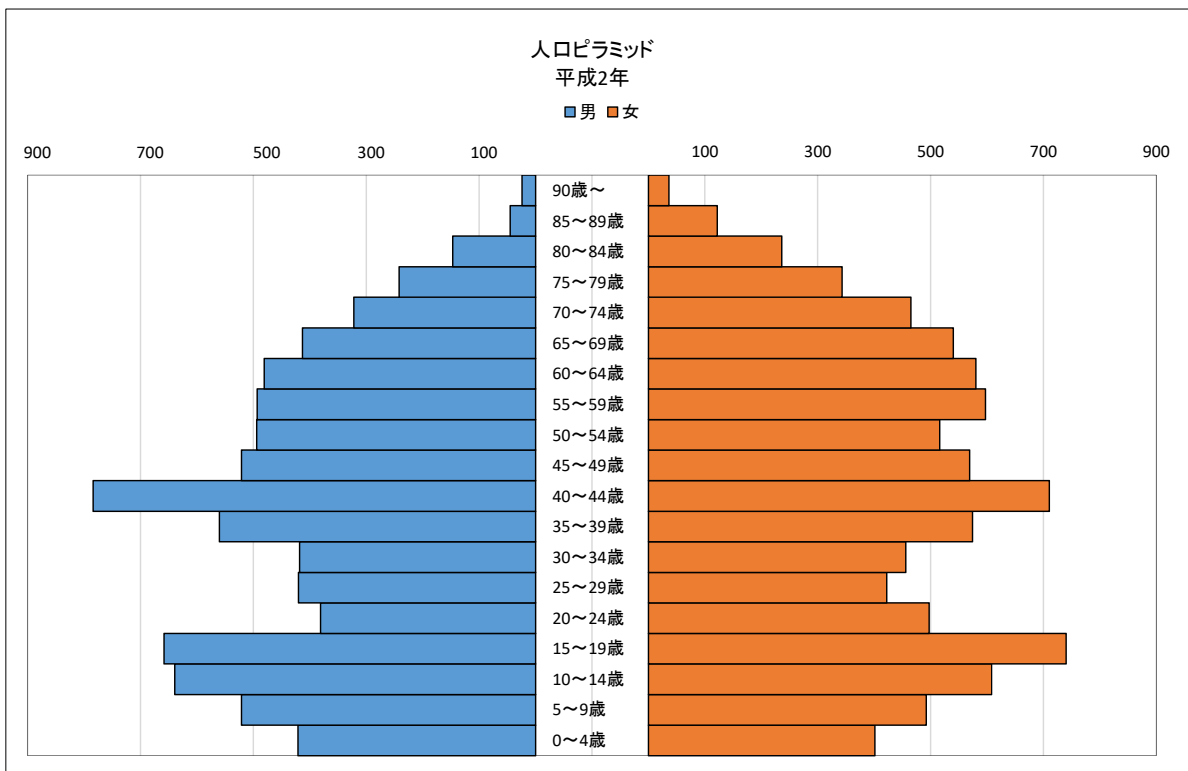
出典：国勢調査

【人口ピラミッド（1980 年）】



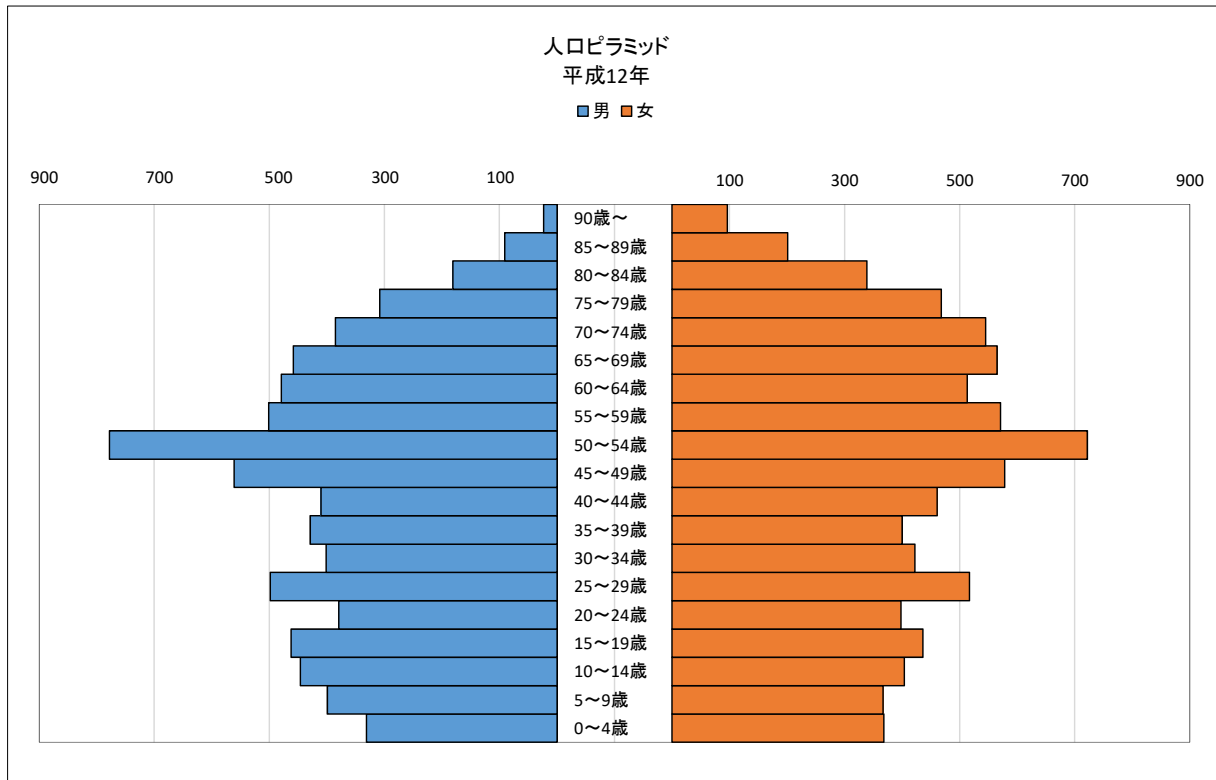
出典：国勢調査

【人口ピラミッド（1990 年）】



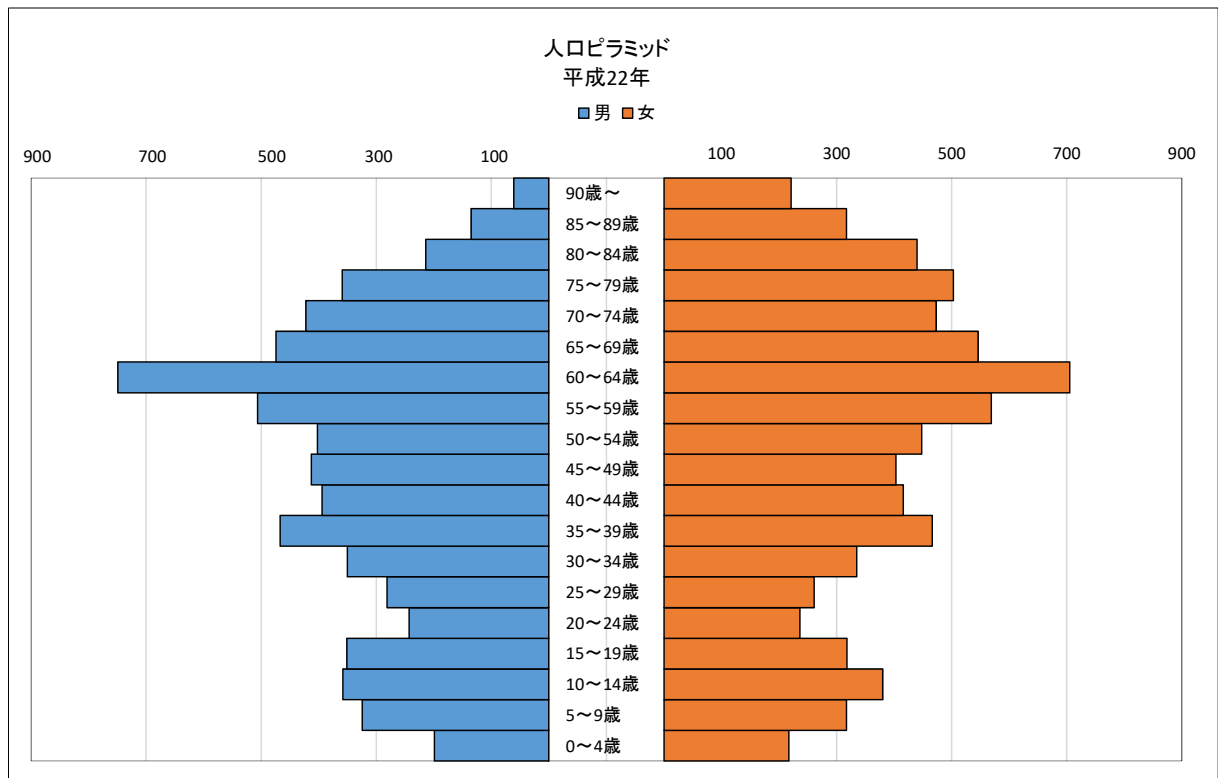
出典：国勢調査

【人口ピラミッド（2000 年）】



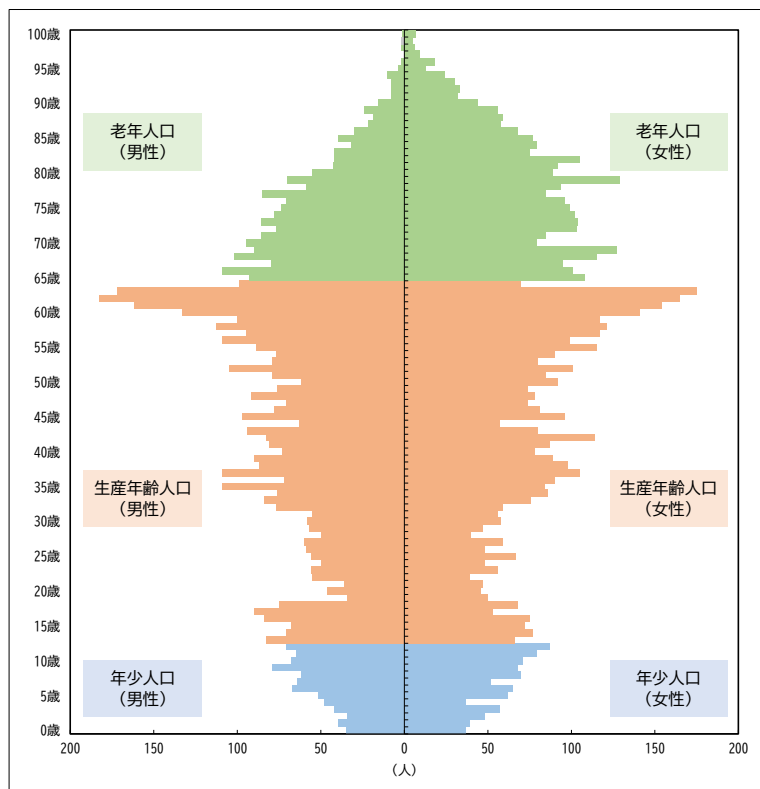
出典：国勢調査

【人口ピラミッド（2010 年）】



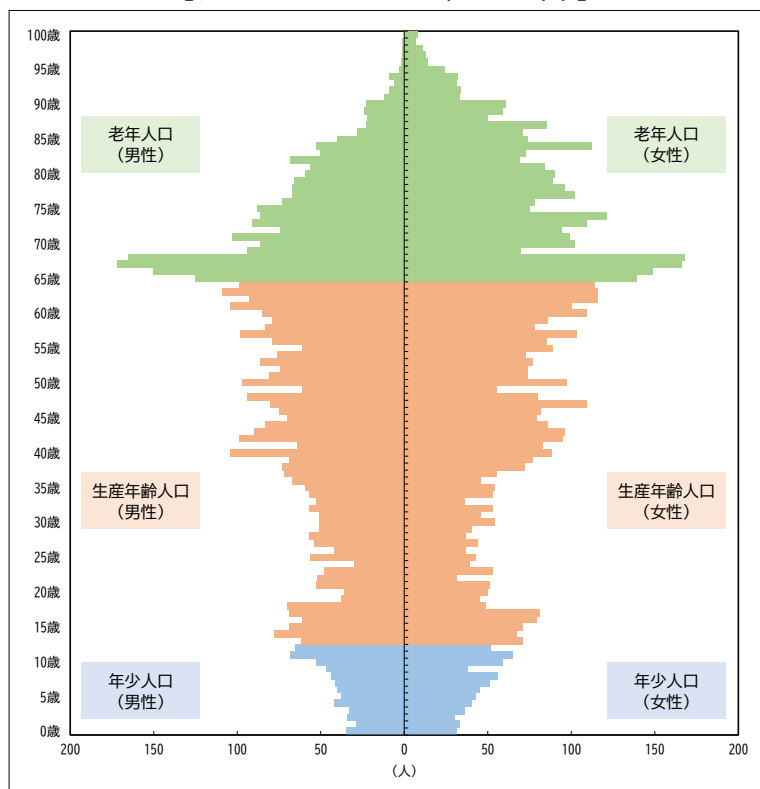
出典：国勢調査

【人口ピラミッド（2010 年）】



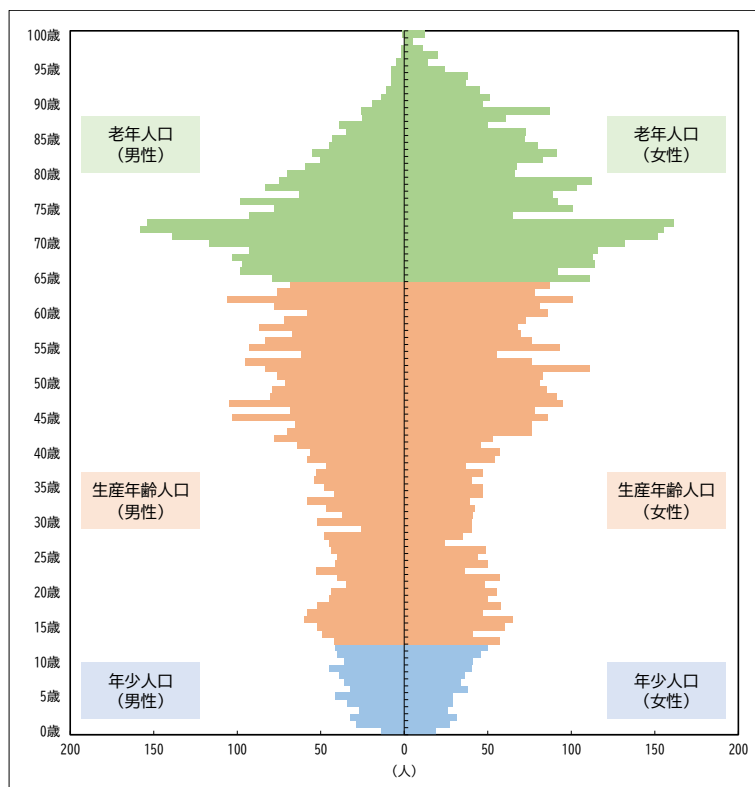
出典：国勢調査

【人口ピラミッド（2015 年）】



出典：国勢調査

【人口ピラミッド（2020 年）】



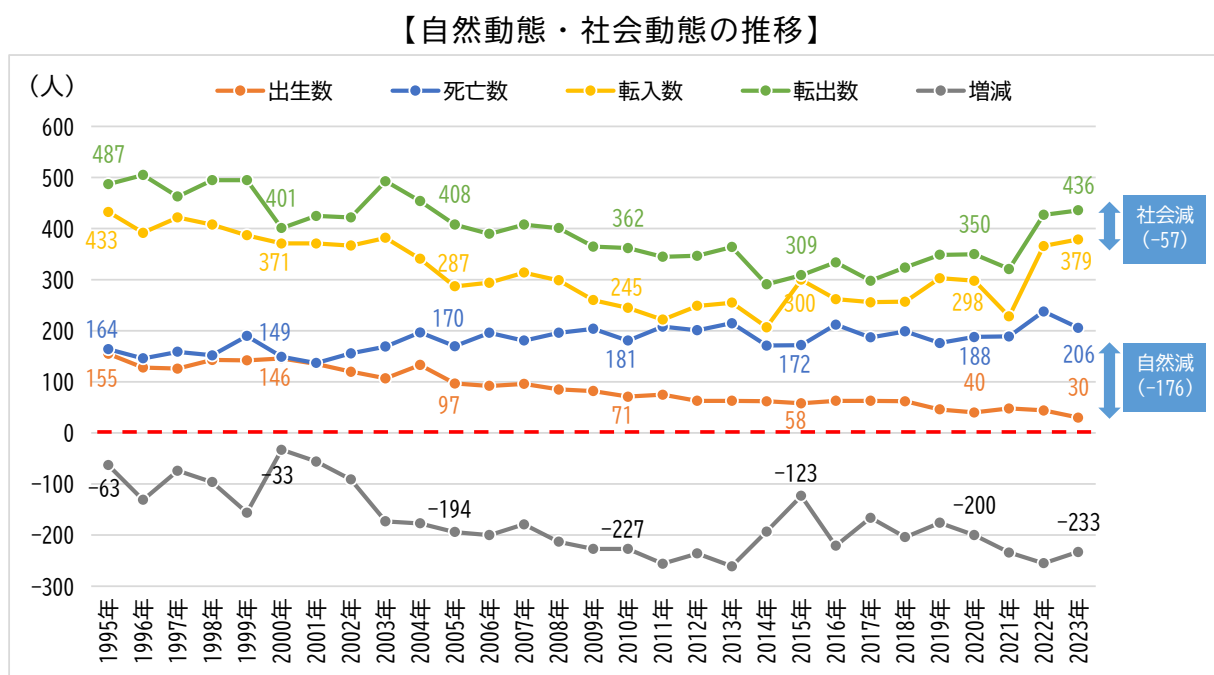
出典：国勢調査

3) 人口の自然動態・社会動態

(1) 自然動態・社会動態

1995 年（平成 7 年）以降の人口の自然動態においては、死亡数が出生数を上回り、その差は年々拡大しており、人口減少の大きな要因となっています。2023 年（令和 5 年）の自然減は▲176 人となっています。

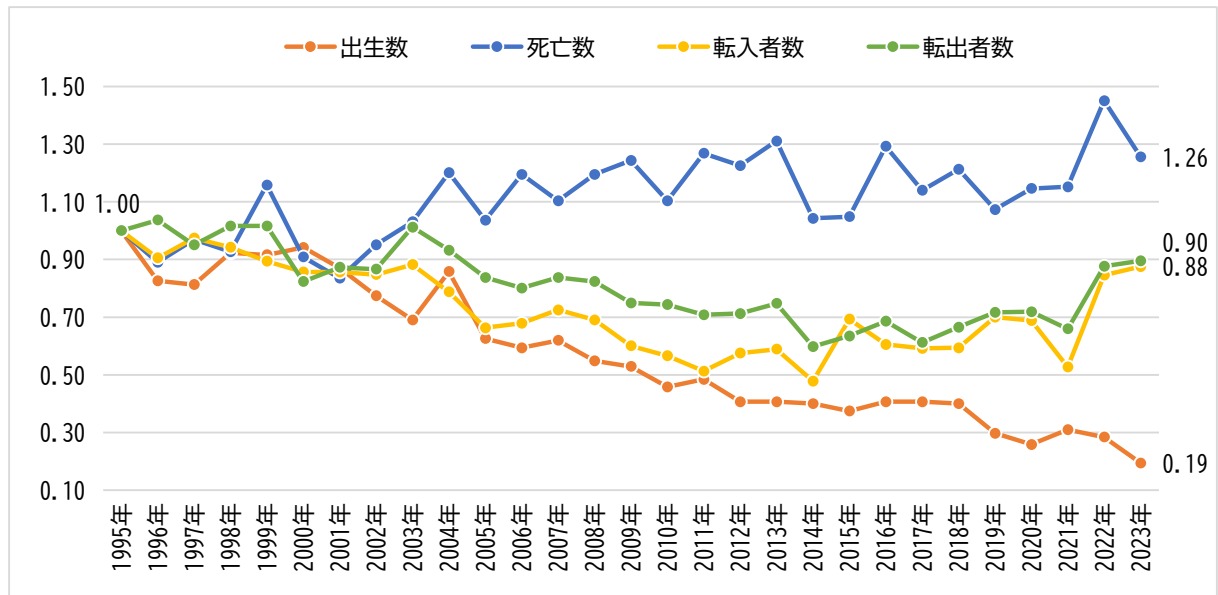
社会動態においては、転出者数が転入者数を一貫して上回っており、2023 年（令和 5 年）の社会減は▲57 人となっています。



出典：総務省統計局 住民基本台帳に基づく人口動態調査結果

注) 住民基本台帳人口等は 2014 年（平成 26 年）調査から調査期日が 3 月 31 日現在から 1 月 1 日現在に変更になっています。

【自然動態・社会動態の増減率の推移】



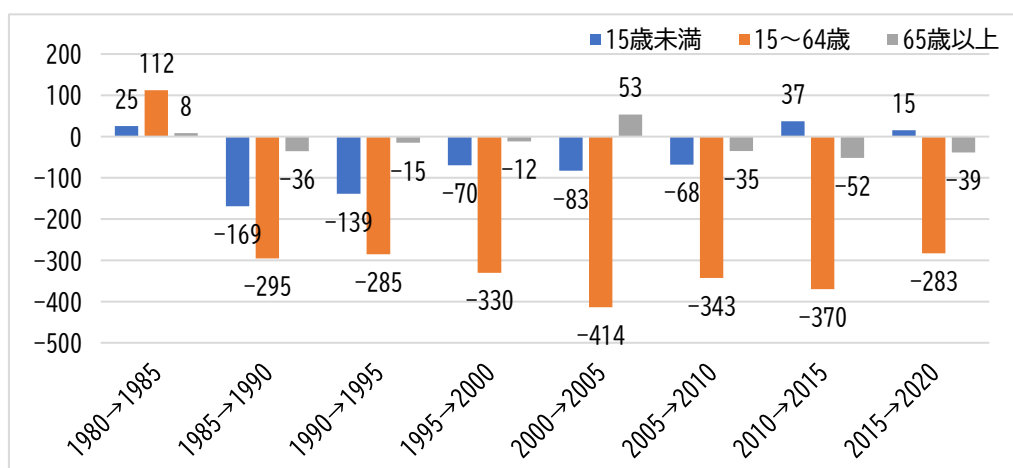
出典：総務省統計局 住民基本台帳に基づく人口動態調査結果
 ※1995年（平成7年）を1とする

注）2012年（平成24年）7月に外国人住民が住民基本台帳法の適用対象となったため、2012年度（平成24年度）の自然増加率、社会増加率は基礎値がないため算出していません。

（２）年齢別（３区分）の移動数の推移

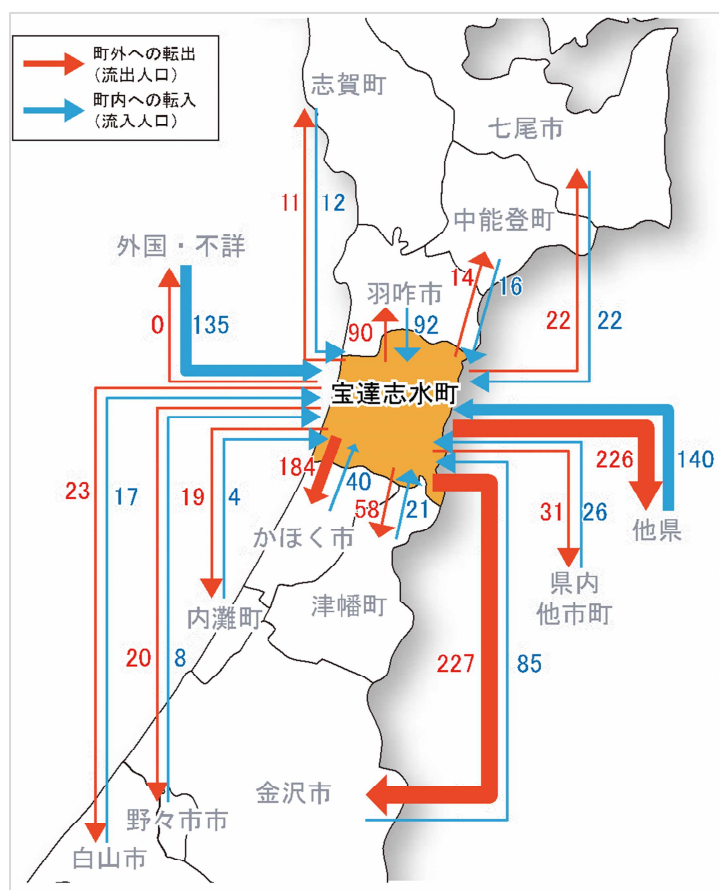
1980年（昭和55年）以降の転入・転出等による移動数の推移を年齢別（３区分）でみると、1985年（昭和60年）以降は、生産年齢人口の社会減が最も多くみられます。また、転出先のほとんどが県外と金沢市になっています。

【５年前の居住地との移動数の推移】



出典：国勢調査

【５年前の居住地との転入・転出人口（2015→2020）】



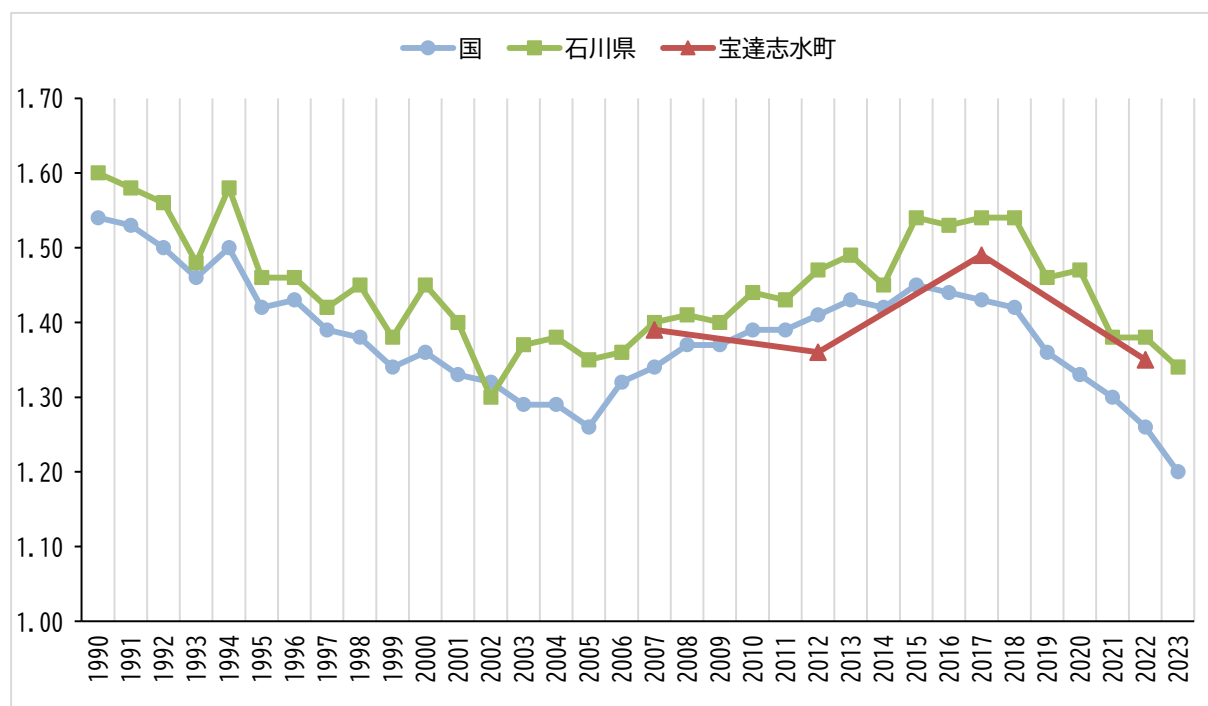
出典：国勢調査

(3) 合計特殊出生率

国全体では、一生の間に女性が産む子どもの数に相当する合計特殊出生率は、2005年（平成17年）の1.26を底に回復傾向にあると言われていましたが、2015年（平成27年）以降は徐々に減少しています。一方、石川県では2005年（平成17年）以降は回復傾向にありましたが、2018年（平成30年）以降から2023年（令和5年）にかけて減少しています。本町の合計特殊出生率は、人口動態保健所・市区町村別統計（平成30～令和4年）によると1.35となっています。

※合計特殊出生率…15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの

【合計特殊出生率の推移】



出典：厚生労働省「人口動態保健所・市区町村別統計」及び「人口動態保健所統計資料」

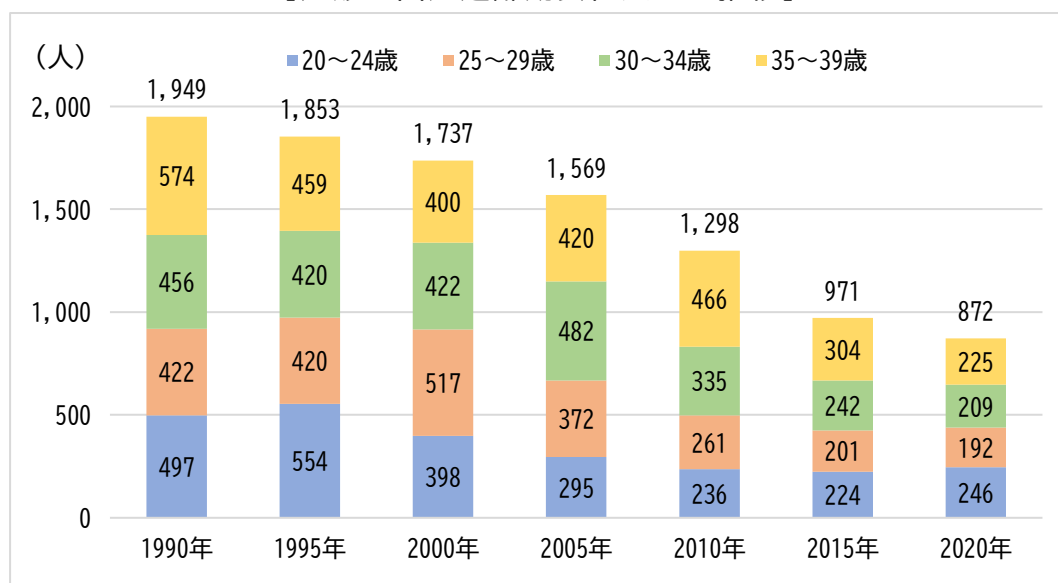
	国	石川県	宝達志水町		国	石川県	宝達志水町
1990 (平成 2) 年	1.54	1.60		2008 (平成20) 年	1.37	1.41	
1991 (平成 3) 年	1.53	1.58		2009 (平成21) 年	1.37	1.40	
1992 (平成 4) 年	1.50	1.56		2010 (平成22) 年	1.39	1.44	1.36
1993 (平成 5) 年	1.46	1.48		2011 (平成23) 年	1.39	1.43	
1994 (平成 6) 年	1.50	1.58		2012 (平成24) 年	1.41	1.47	
1995 (平成 7) 年	1.42	1.46		2013 (平成25) 年	1.43	1.49	1.49
1996 (平成 8) 年	1.43	1.46		2014 (平成26) 年	1.42	1.45	
1997 (平成 9) 年	1.39	1.42		2015 (平成27) 年	1.45	1.54	
1998 (平成10) 年	1.38	1.45		2016 (平成28) 年	1.44	1.53	
1999 (平成11) 年	1.34	1.38		2017 (平成29) 年	1.43	1.54	
2000 (平成12) 年	1.36	1.45		2018 (平成30) 年	1.42	1.54	
2001 (平成13) 年	1.33	1.40		2019 (令和元) 年	1.36	1.46	1.35
2002 (平成14) 年	1.32	1.30		2020 (令和2) 年	1.33	1.47	
2003 (平成15) 年	1.29	1.37		2021 (令和3) 年	1.30	1.38	
2004 (平成16) 年	1.29	1.38		2022 (令和4) 年	1.26	1.38	
2005 (平成17) 年	1.26	1.35	1.39	2023 (令和5) 年	1.20	1.34	
2006 (平成18) 年	1.32	1.36					
2007 (平成19) 年	1.34	1.40					

出典：厚生労働省「人口動態保健所・市区町村別統計」及び「人口動態保健所統計資料」

（４）妊娠・出産適齢期女性人口の推移

満 20 歳から 39 歳の女性の人口推移を 1990 年（平成 2 年）以降で見ると、一貫して減少傾向が続き、1990 年（平成 2 年）の 1,949 人から 2020 年（令和 2 年）の 872 人へと、この 30 年間で 1,077 人（▲55.3%）減少し、半数以下となっています。

【妊娠・出産適齢期女性人口の推移】



出典：国勢調査

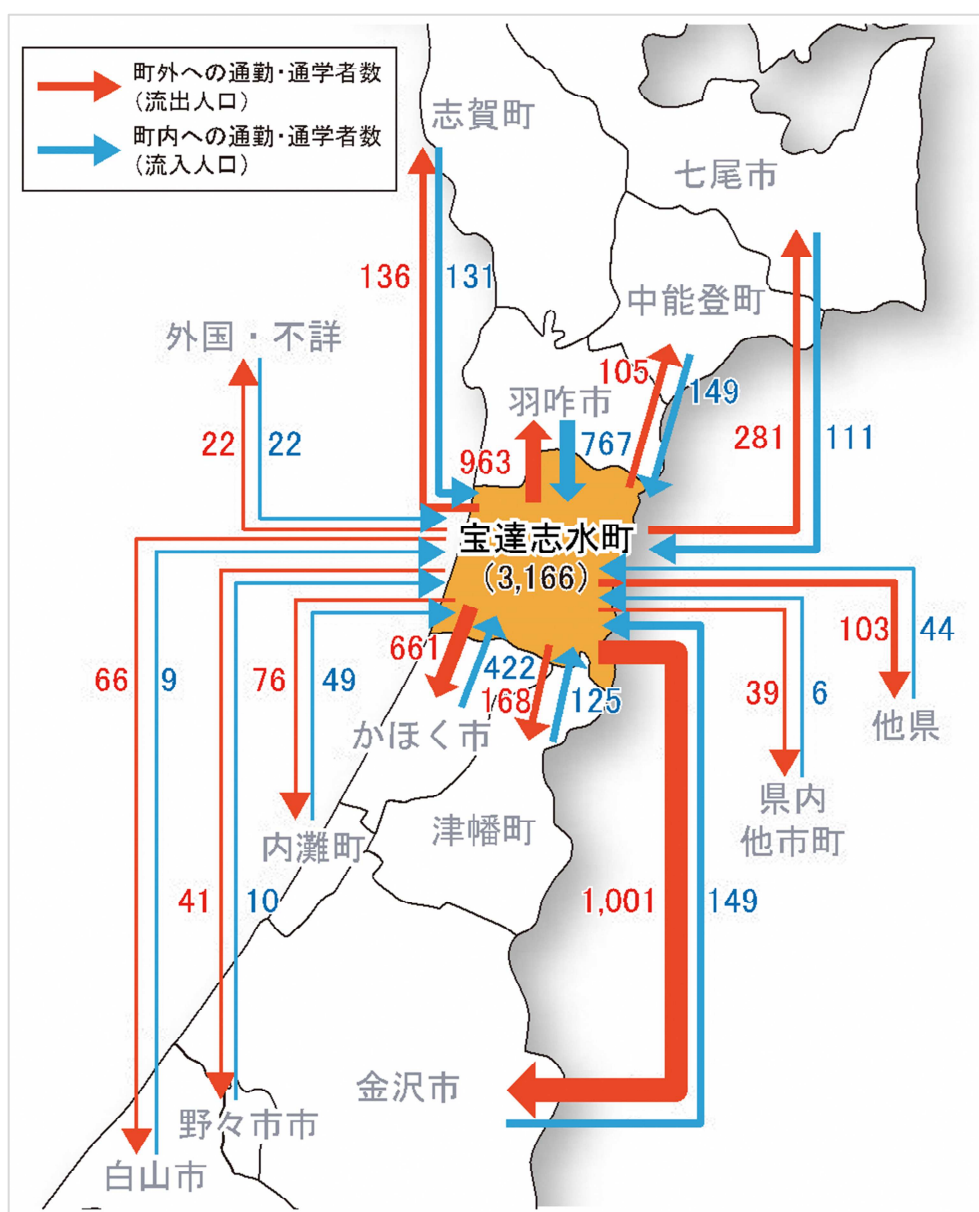
3. 通勤・通学者の状況

1) 通勤・通学者の状況

2020 年（令和 2 年）の国勢調査結果によると、本町から町外への通勤・通学者の状況は、金沢市へ 1,001 人、羽咋市へ 963 人、かほく市へ 661 人などとなっています。

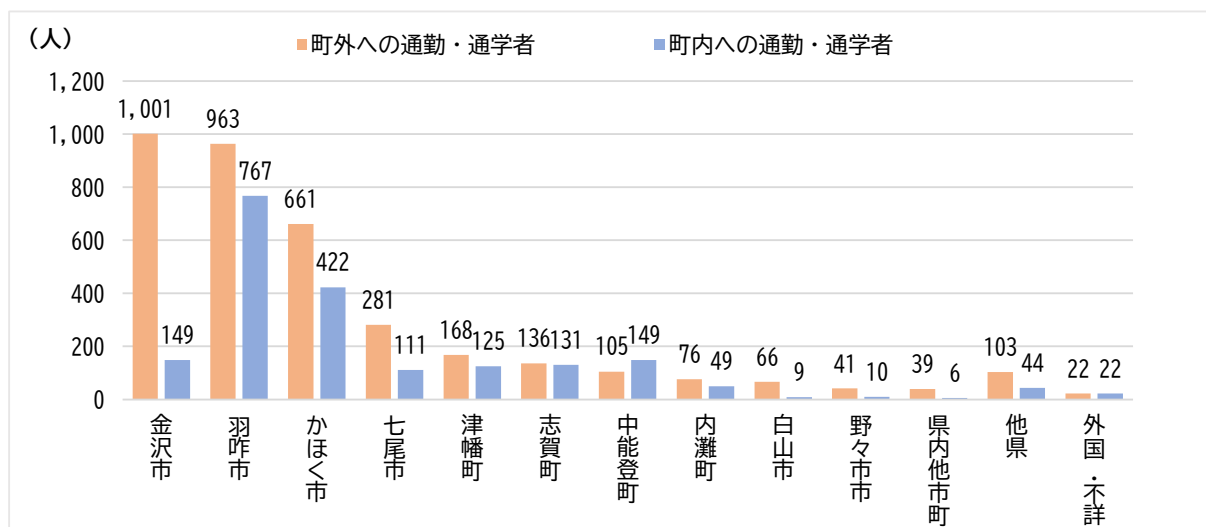
一方で、町外から本町への通勤・通学者は、羽咋市から 767 人、かほく市から 422 人、金沢市から 149 人、中能登町から 149 人などとなっています。

【通勤・通学先人口（2020 年）】



出典：国勢調査

【町外・町内への通勤者・通学者数（2020年）】



出典：国勢調査

【昼夜間人口比率】

	国勢調査人口	当地に常住する 就業者・ 通学者数	当地で就業・ 通学する就業者・ 通学者数	昼間人口	昼夜間人口比率
	A	B	C	D=A-B+C	D/A*100
2000年	15,891	8,962	6,334	13,263	83.5%
2005年	15,236	8,170	5,906	12,972	85.1%
2010年	14,277	7,313	5,335	12,299	86.1%
2015年	13,174	7,028	5,139	11,285	85.7%
2020年	12,121	6,635	4,967	10,453	86.2%

出典：国勢調査

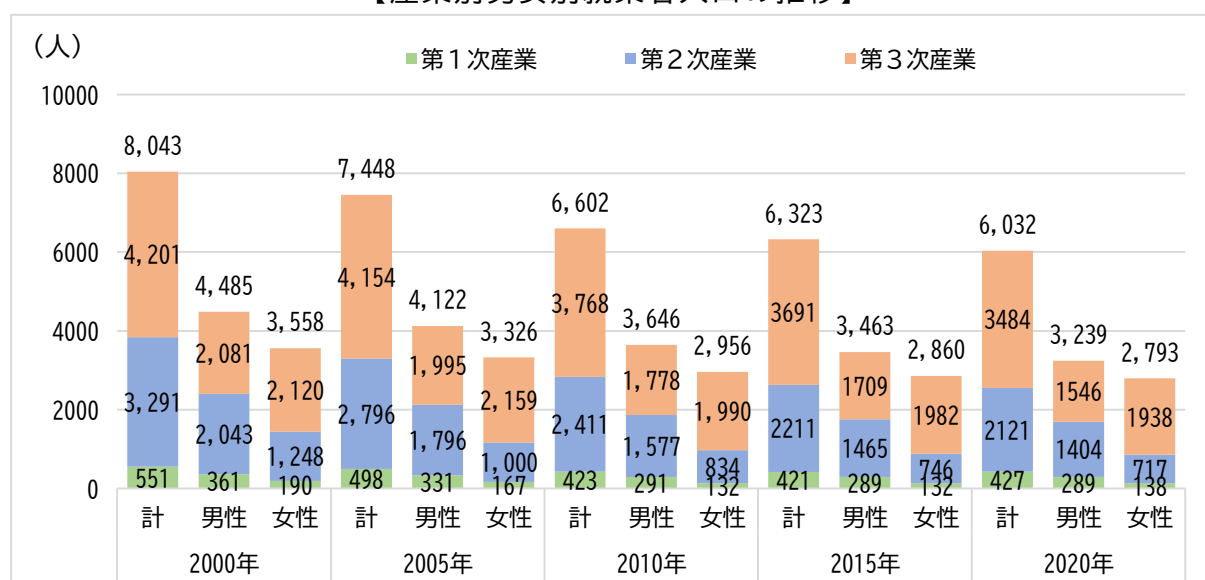
4. 産業別就業者数の推移

1) 産業別就業者数の推移

産業別就業者数について、2000年（平成12年）から2020年（令和2年）の国勢調査結果でみると、生産年齢人口の減少に伴い、この20年間で総就業者数は8,043人から6,032人へと2,011人（▲25.0%）の減少となっています。

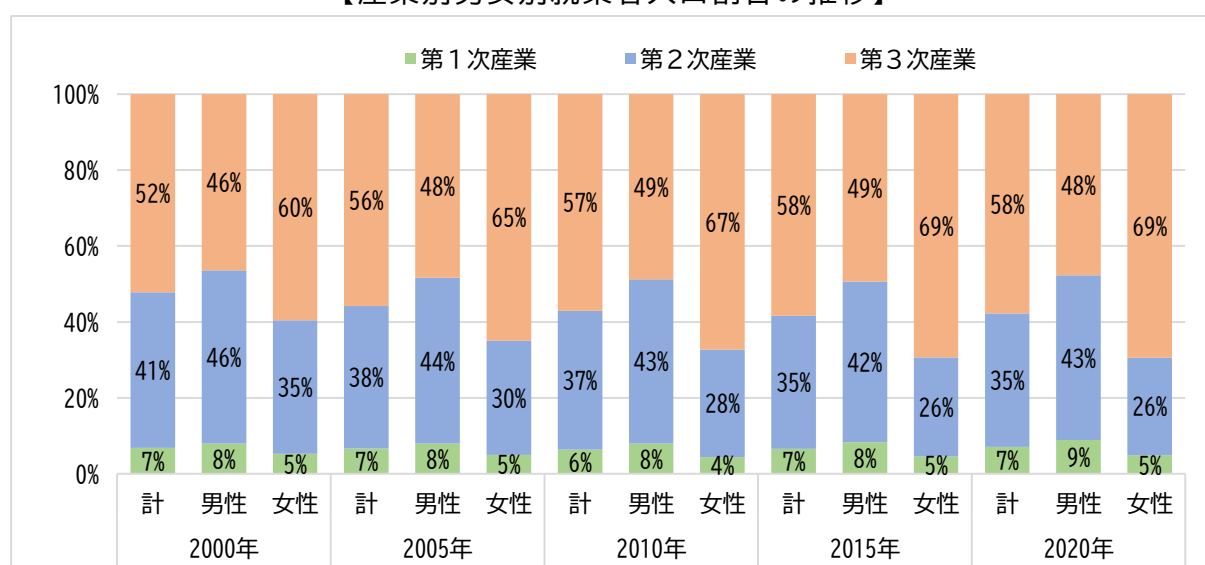
また、ここ10年間の人口割合には大きな変化は見られません。

【産業別男女別就業者人口の推移】



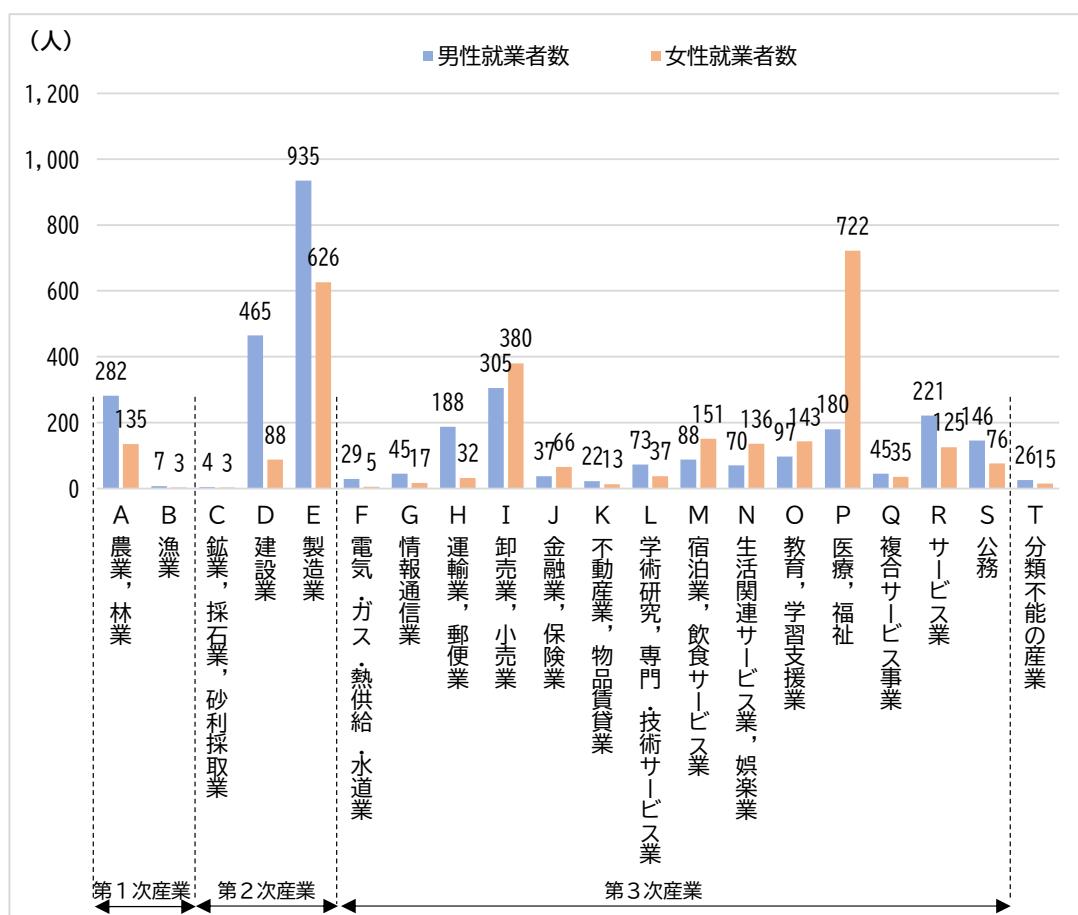
出典：国勢調査

【産業別男女別就業者人口割合の推移】



出典：国勢調査

【産業大分類別男女別就業者人口（2020年）】



出典：国勢調査

5. 人口の現状と課題

1) 年齢別（3区分）人口の課題

年少人口の急激な減少と生産年齢人口の減少、老年人口の急激な増加

本町では総人口の継続的な減少がみられ、特に年少人口と、生産年齢人口のうち若年層の減少が続いている一方で、老年人口は急激に増加しています。

生産年齢人口の減少は、町の税収にマイナスの影響を及ぼすため、特に若年層の減少に歯止めをかける必要があります。また、高齢化率の高まりは要介護者の増加や要介護度の上昇等に伴う医療費、介護給付費の増加が見込まれ、行財政を取り巻く環境が悪化することが懸念されます。

そのため、年少人口と生産年齢人口の増加に向けた取組を総合的に進めるとともに、高齢者が健康で安心して暮らせる環境の確保が必要です。

2) 性別・年齢別（3区分）人口構成の課題

女性が安心して出産・子育てできる環境づくり

地方において一般的にみられる現象として、生産年齢人口のうち若年層では、男性が多く女性が少ない傾向にあり、この結果、結婚や出産の機会が減少し、少子化が一層進行することとなります。本町においても、2010年（平成22年）と2015年（平成27年）、2020年（令和2年）のデータからは、15歳から39歳の男女別人口において、女性が少ない結果になっています。

このため、本町の特徴を活かしながら、若年層の女性が町内で安心して子育てができる環境づくりを推進することも必要です。

3) 自然動態・社会動態の課題

減少傾向が続く自然動態と転入者を上回る転出者に歯止めをかける

減少傾向が続く自然動態と、転入者数を上回る転出者数に歯止めをかけるためには、町内に就労の機会を創出することや、地域産業の活性化に向けた施策、若者世代の定住促進に向けた施策が必要となります。また、これらの施策と併せて、交流人口や関係人口を拡大し、新しい人の流れを作る必要があります。

6. 人口の将来推計

1) 人口の将来推計

人口推計結果の参考として、①～③の合計3パターンの推計を行いました。

推計方法は、自然動態の変化を「合計特殊出生率」、社会動態の変化を「(市町村間の転出入の)移動率」で設定し、「社人研準拠」や「町独自推計」に基づいて算出します。(コーホート要因法)

町独自の設定は、第2次総合計画や総合戦略の推進により、「合計特殊出生率」や「移動率」が改善することを想定して設定します。

【推計のパターン】

推計パターン		合計特殊出生率※	移動率
①	パターン1	2025 : 1.35	2045 年から均衡
②	パターン2	2025 : 1.35 2040 : 1.8	2035 年から均衡
③	パターン3	2025 : 1.35 2030 : 1.8 2045 : 2.07	2035 年から均衡
参考	第2期町独自推計	2015 : 1.36 2030 : 1.8 2045 : 2.07	2030 年から均衡
参考	R5 社人研推計	社人研準拠	R5 社人研準拠

※ 合計特殊出生率の数値根拠

1.35 (厚生労働省公表の宝達志水町の値(2022年))

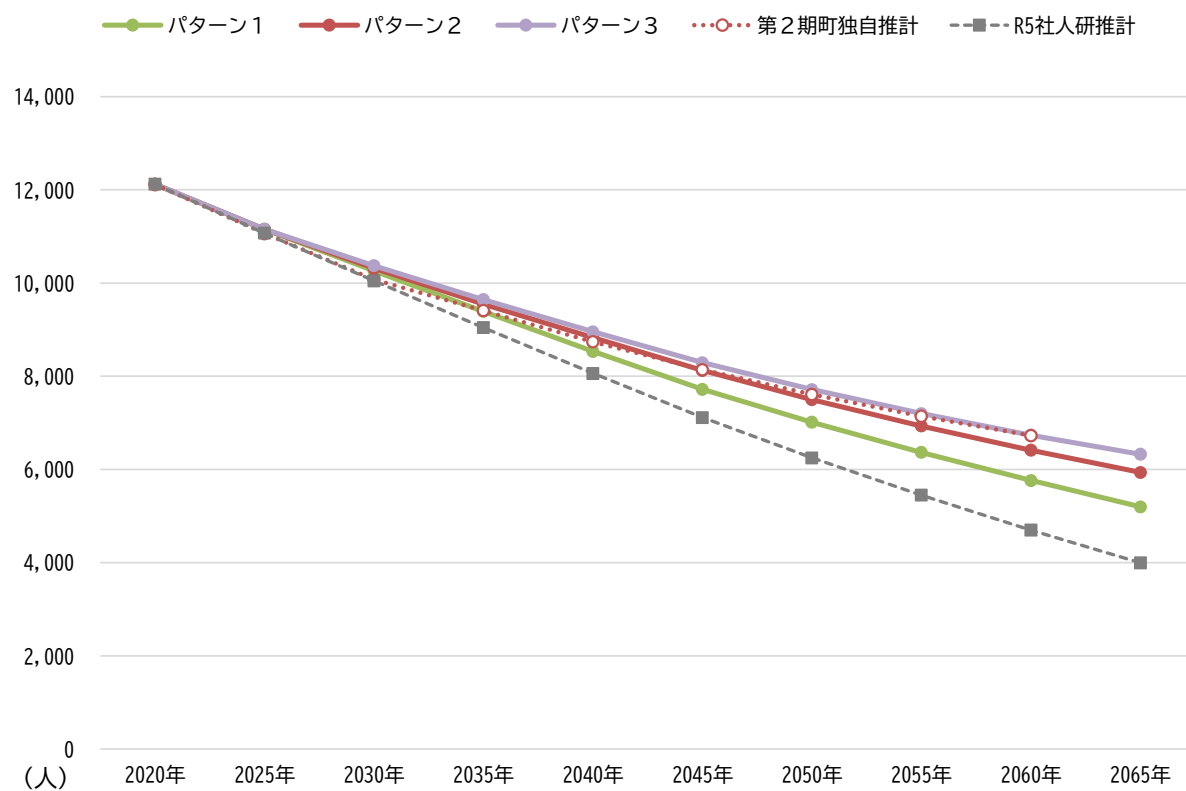
1.36 (厚生労働省公表の宝達志水町の値(2012年))

1.8 (政府が2015年に示した希望出生率)

2.07 (人口が長期的に増えも減りもせずに一定となる出生の水準)

各パターンの算出結果は次の通りです。

【推計結果】

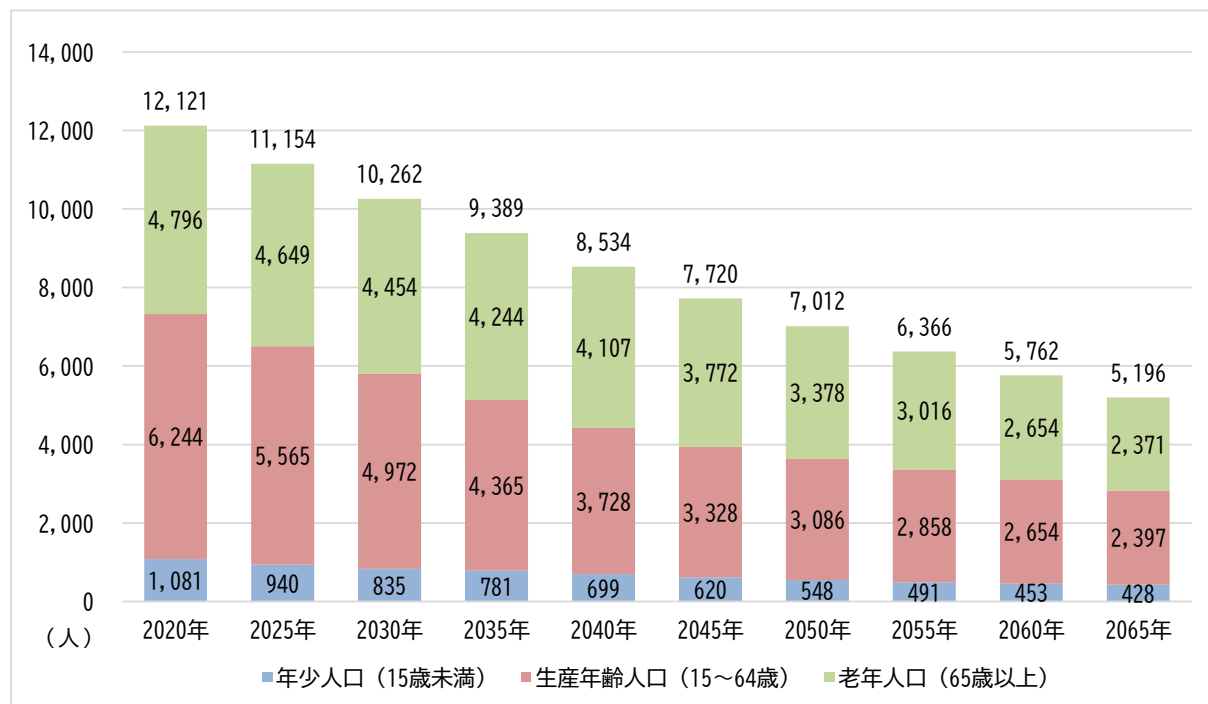


推計パターン	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年	2065年
パターン 1	12,121	11,154	10,262	9,389	8,534	7,720	7,012	6,366	5,762	5,196
パターン 2	12,121	11,154	10,316	9,544	8,826	8,123	7,497	6,931	6,411	5,934
パターン 3	12,121	11,154	10,372	9,643	8,954	8,291	7,712	7,199	6,736	6,324
第2期町独自推計	12,110	11,061	10,077	9,408	8,736	8,140	7,610	7,138	6,727	-
R5社人研推計	12,121	11,069	10,047	9,043	8,059	7,112	6,247	5,448	4,698	3,997

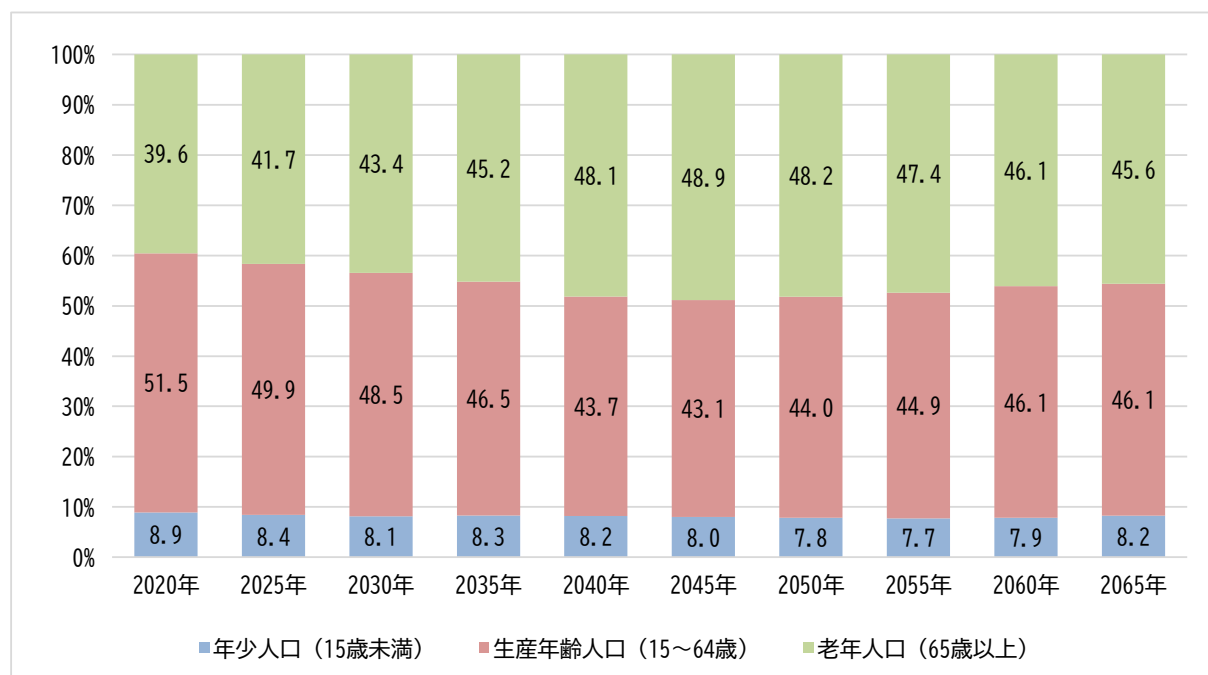
①パターン1

①～③の推計のなかで最も人口減少が大きく、2065年（令和47年）の総人口が5,196人（▲57.1%）となります。老年人口が2040年（令和22年）で生産年齢人口を上回り、年少人口の割合は一定程度で推移します。

【年齢3区分別人口の推移】



【年齢3区分別人口割合の推移】



【人口の推移と推計人口】

	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060	2065
合計	12,121	11,154	10,262	9,389	8,534	7,720	7,012	6,366	5,762	5,196
0～4 歳	268	272	248	225	203	180	162	149	142	137
5～9 歳	370	291	291	261	233	206	180	162	149	142
10～14 歳	443	377	296	294	263	234	206	180	162	149
15～19 歳	547	381	334	271	278	256	234	206	180	162
20～24 歳	462	379	288	272	237	260	256	233	206	180
25～29 歳	399	436	363	278	267	234	260	255	233	205
30～34 歳	445	391	429	358	275	265	234	259	255	233
35～39 歳	485	440	387	426	356	274	265	234	259	254
40～44 歳	642	479	435	384	423	354	274	264	233	258
45～49 歳	870	631	472	430	380	421	353	273	263	232
50～54 歳	793	875	634	472	430	379	418	351	271	261
55～59 歳	782	780	861	625	466	425	375	414	347	268
60～64 歳	819	772	769	849	616	459	418	369	407	342
65～69 歳	1,017	789	750	748	827	600	448	408	361	398
70～74 歳	1,326	961	749	713	715	792	576	430	391	346
75～79 歳	894	1,213	884	693	661	666	740	537	401	365
80～84 歳	666	758	1,044	773	610	584	594	659	478	356
85～89 歳	511	503	580	806	611	489	470	480	532	385
90～94 歳	278	299	302	358	503	395	322	306	314	348
95 歳以上	104	126	145	153	180	247	228	196	178	174

※国提供の「人口動向分析・将来人口推計のための基礎データ及びワークシート（令和6年6月版）」による算出結果を掲載しており、小数点以下の数値を有する都合により、合計と5歳階級人口の小計とが一致しない場合がある

< 年齢4階級別人口 >

0～14 歳	1,081	940	835	781	699	620	548	491	453	428
15～64 歳	6,244	5,565	4,972	4,365	3,728	3,328	3,086	2,858	2,654	2,397
65～74 歳	2,343	1,749	1,499	1,462	1,542	1,392	1,024	838	752	744
75 歳以上	2,453	2,900	2,955	2,782	2,565	2,380	2,354	2,179	1,903	1,627

< 年齢4階級別人口割合 >

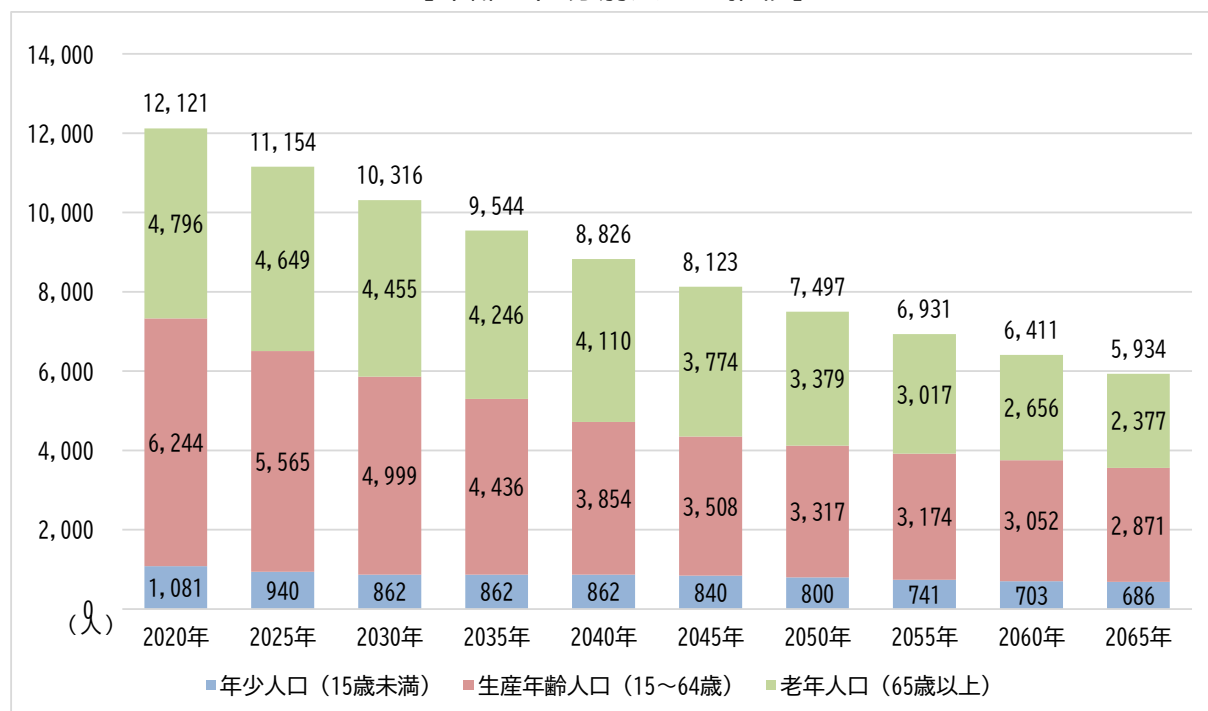
0～14 歳	8.9%	8.4%	8.1%	8.3%	8.2%	8.0%	7.8%	7.7%	7.9%	8.2%
15～64 歳	51.5%	49.9%	48.5%	46.5%	43.7%	43.1%	44.0%	44.9%	46.1%	46.1%
65～74 歳	19.3%	15.7%	14.6%	15.6%	18.1%	18.0%	14.6%	13.2%	13.0%	14.3%
75 歳以上	20.2%	26.0%	28.8%	29.6%	30.1%	30.8%	33.6%	34.2%	33.0%	31.3%

※四捨五入により、各年齢階級の合計が100%にならない

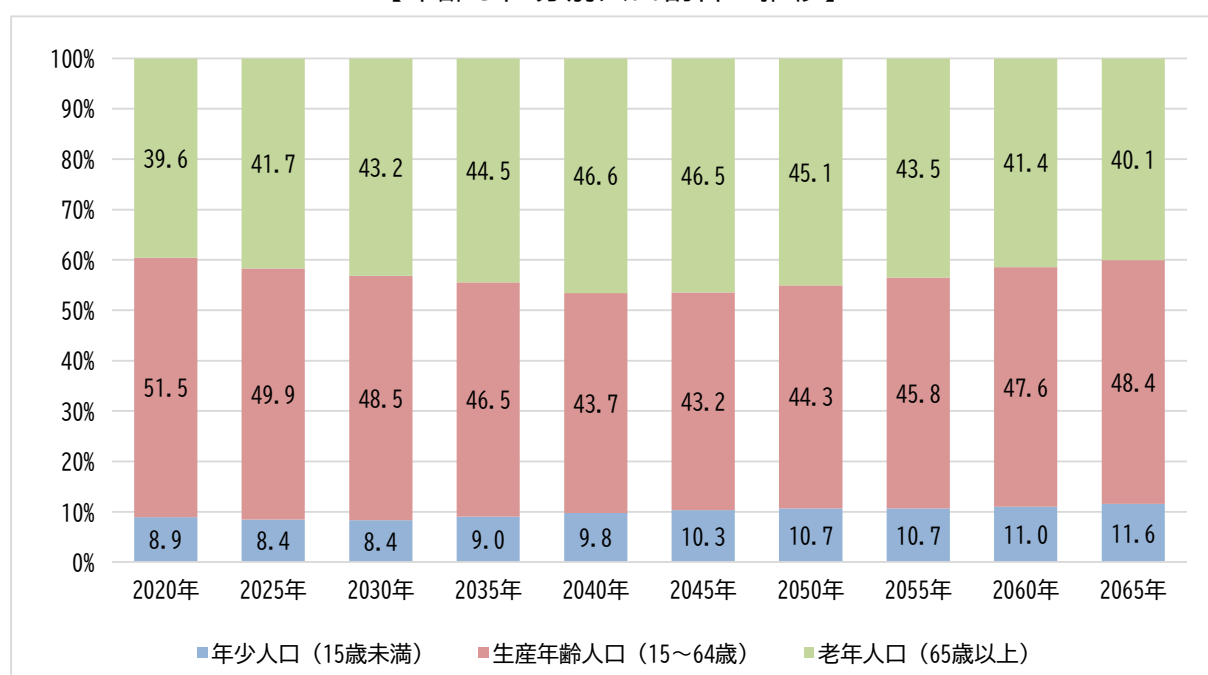
②パターン2

2065年（令和47年）の総人口が5,934人（▲51.0%）となります。老年人口が2040年（令和22年）で生産年齢人口を上回りますが、年少人口の割合は2035年（令和17年）から徐々に増加します。

【年齢3区分別人口の推移】



【年齢3区分別人口割合の推移】



【人口の推移と推計人口】

	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060	2065
合計	12,121	11,154	10,316	9,544	8,826	8,123	7,497	6,931	6,411	5,934
0～4 歳	268	272	279	285	290	265	245	231	228	228
5～9 歳	370	291	288	287	285	290	265	245	231	227
10～14 歳	443	377	295	290	287	285	290	265	245	230
15～19 歳	547	381	341	281	289	287	285	290	265	245
20～24 歳	462	379	303	306	281	289	287	285	290	265
25～29 歳	399	436	365	297	306	280	289	287	284	289
30～34 歳	445	391	430	362	297	305	280	288	286	284
35～39 歳	485	440	388	428	362	296	304	279	288	286
40～44 歳	642	479	436	385	427	361	295	304	279	287
45～49 歳	870	631	473	432	384	425	359	294	303	277
50～54 歳	793	875	632	471	429	381	423	357	293	301
55～59 歳	782	780	862	624	466	425	377	418	354	290
60～64 歳	819	772	768	848	613	458	418	371	412	348
65～69 歳	1,017	789	750	748	826	598	447	408	363	402
70～74 歳	1,326	961	750	714	715	792	574	429	391	348
75～79 歳	894	1,213	885	694	662	667	740	535	400	365
80～84 歳	666	758	1,044	774	613	586	595	659	476	355
85～89 歳	511	503	580	807	613	491	472	481	533	384
90～94 歳	278	299	302	358	502	396	324	307	315	349
95 歳以上	104	126	144	152	178	245	228	197	179	175

※国提供の「人口動向分析・将来人口推計のための基礎データ及びワークシート（令和6年6月版）」による算出結果を掲載しており、小数点以下の数値を有する都合により、合計と5歳階級人口の小計とが一致しない場合がある

< 年齢4階級別人口 >

0～14 歳	1,081	940	862	862	862	840	800	741	703	686
15～64 歳	6,244	5,565	4,999	4,436	3,854	3,508	3,317	3,174	3,052	2,871
65～74 歳	2,343	1,749	1,500	1,462	1,542	1,390	1,021	837	754	750
75 歳以上	2,453	2,900	2,956	2,784	2,568	2,384	2,358	2,180	1,902	1,627

< 年齢4階級別人口割合 >

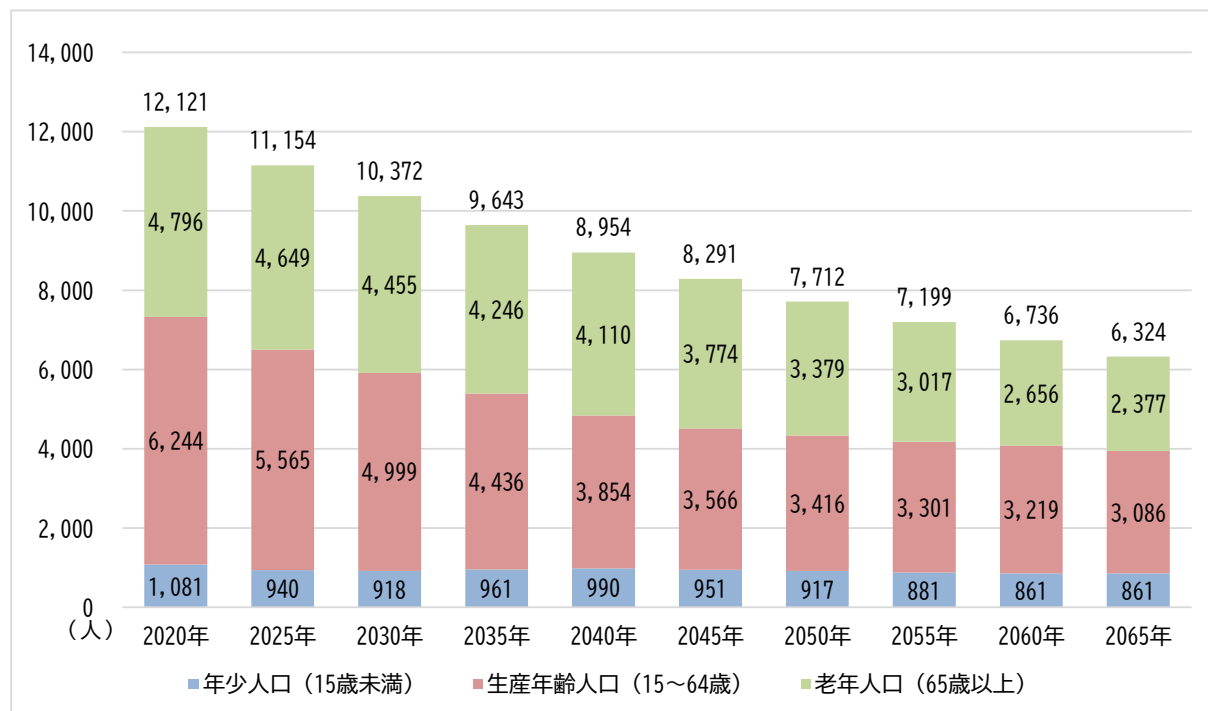
0～14 歳	8.9%	8.4%	8.4%	9.0%	9.8%	10.3%	10.7%	10.7%	11.0%	11.6%
15～64 歳	51.5%	49.9%	48.5%	46.5%	43.7%	43.2%	44.3%	45.8%	47.6%	48.4%
65～74 歳	19.3%	15.7%	14.5%	15.3%	17.5%	17.1%	13.6%	12.1%	11.8%	12.6%
75 歳以上	20.2%	26.0%	28.7%	29.2%	29.1%	29.4%	31.5%	31.5%	29.7%	27.4%

※四捨五入により、各年齢階級の合計が100%にならない

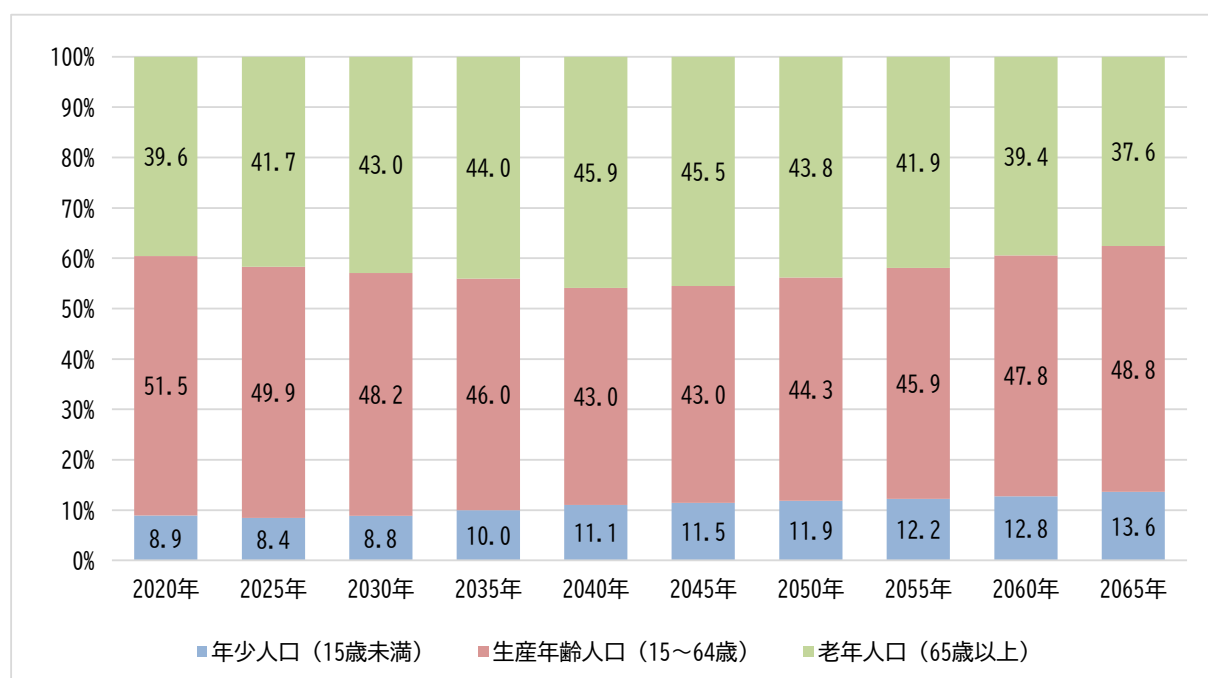
③パターン3

①～③の中で最も人口減少が緩やかで、2065年（令和47年）の総人口は6,324人（▲47.8%）となります。老年人口が2040年（令和22年）で生産年齢人口を上回りますが、年少人口の割合は2030年（令和12年）から徐々に増加します。

【年齢3区分別人口の推移】



【年齢3区分別人口割合の推移】



【人口の推移と推計人口】

	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060	2065
合計	12,121	11,154	10,372	9,643	8,954	8,291	7,712	7,199	6,736	6,324
0～4 歳	268	272	335	327	319	305	293	283	285	293
5～9 歳	370	291	288	345	326	319	305	292	283	285
10～14 歳	443	377	295	290	345	326	319	305	292	283
15～19 歳	547	381	341	281	289	345	326	319	305	292
20～24 歳	462	379	303	306	281	289	344	326	319	305
25～29 歳	399	436	365	297	306	280	289	344	325	318
30～34 歳	445	391	430	362	297	305	280	288	343	325
35～39 歳	485	440	388	428	362	296	304	279	288	343
40～44 歳	642	479	436	385	427	361	295	304	279	287
45～49 歳	870	631	473	432	384	425	359	294	303	277
50～54 歳	793	875	632	471	429	381	423	357	293	301
55～59 歳	782	780	862	624	466	425	377	418	354	290
60～64 歳	819	772	768	848	613	458	418	371	412	348
65～69 歳	1,017	789	750	748	826	598	447	408	363	402
70～74 歳	1,326	961	750	714	715	792	574	429	391	348
75～79 歳	894	1,213	885	694	662	667	740	535	400	365
80～84 歳	666	758	1,044	774	613	586	595	659	476	355
85～89 歳	511	503	580	807	613	491	472	481	533	384
90～94 歳	278	299	302	358	502	396	324	307	315	349
95 歳以上	104	126	144	152	178	245	228	197	179	175

※国提供の「人口動向分析・将来人口推計のための基礎データ及びワークシート（令和6年6月版）」による算出結果を掲載しており、小数点以下の数値を有する都合により、合計と5歳階級人口の小計とが一致しない場合がある

< 年齢4階級別人口 >

0～14 歳	1,081	940	918	961	990	951	917	881	861	861
15～64 歳	6,244	5,565	4,999	4,436	3,854	3,566	3,416	3,301	3,219	3,086
65～74 歳	2,343	1,749	1,500	1,462	1,542	1,390	1,021	837	754	750
75 歳以上	2,453	2,900	2,956	2,784	2,568	2,384	2,358	2,180	1,902	1,627

< 年齢4階級別人口割合 >

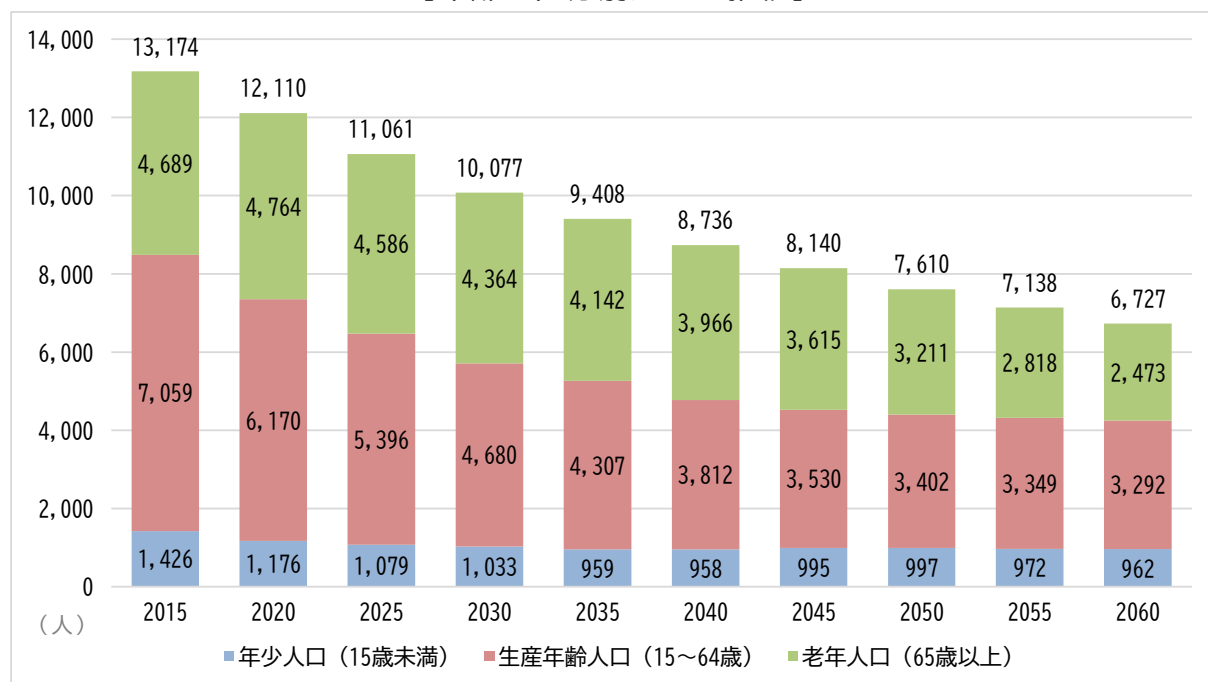
0～14 歳	8.9%	8.4%	8.8%	10.0%	11.1%	11.5%	11.9%	12.2%	12.8%	13.6%
15～64 歳	51.5%	49.9%	48.2%	46.0%	43.0%	43.0%	44.3%	45.9%	47.8%	48.8%
65～74 歳	19.3%	15.7%	14.5%	15.2%	17.2%	16.8%	13.2%	11.6%	11.2%	11.9%
75 歳以上	20.2%	26.0%	28.5%	28.9%	28.7%	28.8%	30.6%	30.3%	28.2%	25.7%

※四捨五入により、各年齢階級の合計が100%にならない

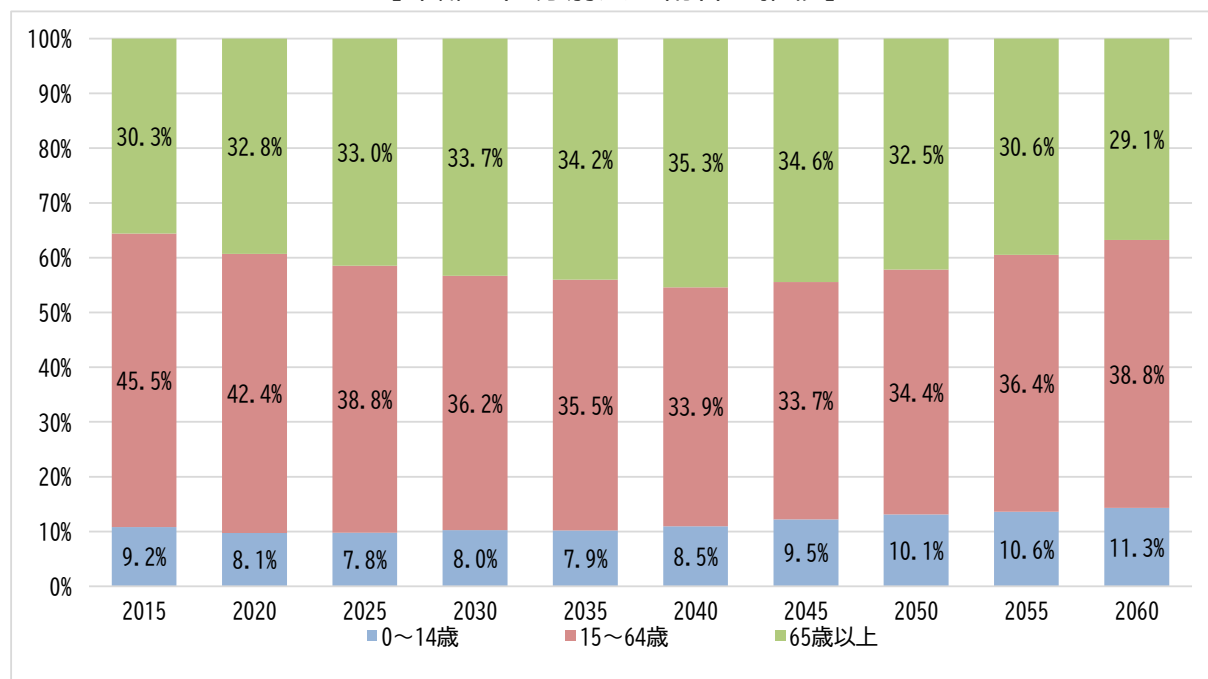
参考：第2期 町独自推計

2060年（令和42年）の総人口が6,727人（▲48.9%）となります。老年人口が2040年（令和22年）で生産年齢人口を上回り、年少人口の割合は2040年（令和22年）から増加します。

【年齢3区分別人口の推移】



【年齢3区分別人口割合の推移】



【人口の推移と推計人口】

	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060
合計	13,174	12,110	11,061	10,077	9,408	8,736	8,140	7,610	7,138	6,727
0～4 歳	343	370	321	296	320	343	333	321	317	323
5～9 歳	443	364	394	343	296	320	342	333	321	317
10～14 歳	640	442	364	394	343	296	320	342	333	321
15～19 歳	632	548	378	311	394	343	296	319	342	333
20～24 歳	443	421	364	252	311	393	342	296	319	342
25～29 歳	461	432	409	359	252	311	393	342	295	318
30～34 歳	511	436	411	391	358	251	310	392	341	295
35～39 歳	644	481	413	390	390	357	251	309	391	340
40～44 歳	888	613	458	394	389	389	356	250	308	390
45～49 歳	785	862	595	444	392	387	387	354	249	307
50～54 歳	809	759	835	576	441	388	384	384	352	247
55～59 歳	841	800	752	828	569	435	384	379	380	347
60～64 歳	1,045	818	780	734	813	558	427	377	372	373
65～69 歳	1,398	1,007	790	753	713	789	542	415	365	361
70～74 歳	965	1,322	957	753	717	680	754	518	396	348
75～79 歳	801	869	1,194	870	696	662	632	700	480	366
80～84 歳	714	654	720	997	759	611	582	557	617	422
85～89 歳	476	524	489	549	773	601	488	462	445	492
90 歳以上	335	388	437	442	485	622	617	559	515	484

※国提供の「人口動向分析・将来人口推計のための基礎データ及びワークシート（令和6年6月版）」による算出結果を掲載しており、小数点以下の数値を有する都合により、合計と5歳階級人口の小計とが一致しない場合がある

< 年齢4階級別人口 >

0～14 歳	1,426	1,176	1,079	1,033	959	958	995	997	972	962
15～64 歳	7,059	6,170	5,396	4,680	4,307	3,812	3,530	3,402	3,349	3,292
65～74 歳	4,689	4,764	4,586	4,364	4,142	3,966	3,615	3,211	2,818	2,473
75 歳以上	2,326	2,435	2,839	2,858	2,713	2,496	2,319	2,278	2,056	1,764

< 年齢4階級別人口割合 >

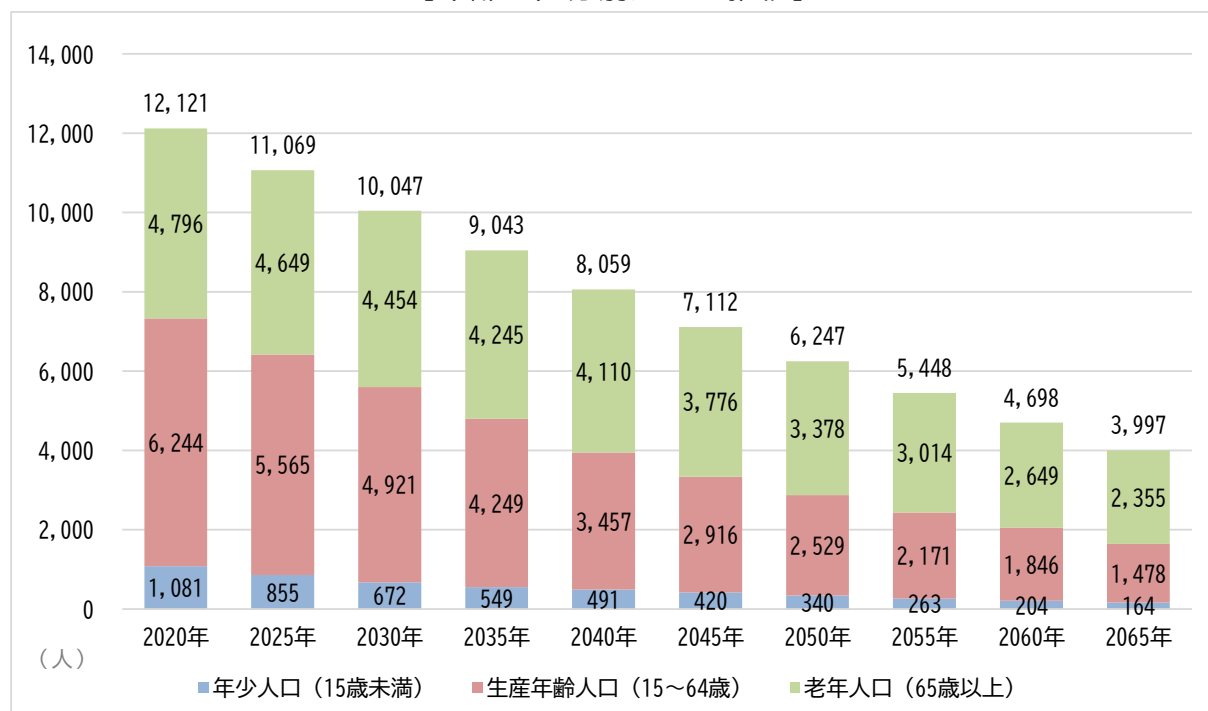
0～14 歳	9.2%	8.1%	7.8%	8.0%	7.9%	8.5%	9.5%	10.1%	10.6%	11.3%
15～64 歳	45.5%	42.4%	38.8%	36.2%	35.5%	33.9%	33.7%	34.4%	36.4%	38.8%
65～74 歳	30.3%	32.8%	33.0%	33.7%	34.2%	35.3%	34.6%	32.5%	30.6%	29.1%
75 歳以上	15.0%	16.7%	20.4%	22.1%	22.4%	22.2%	22.2%	23.0%	22.4%	20.8%

※四捨五入により、各年齢階級の合計が100%にならない

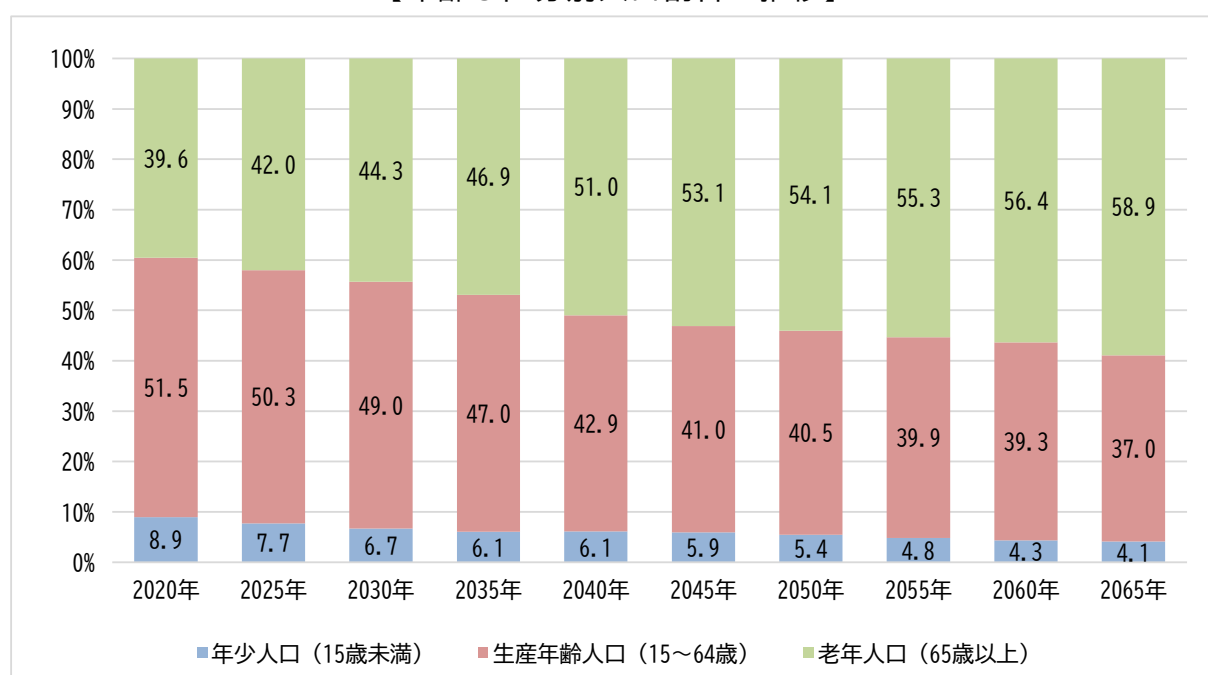
参考：R5 社人研推計

2065 年（令和 47 年）の総人口が 3,977 人（▲67.0%）となります。老年人口が 2040 年（令和 22 年）で生産年齢人口を上回り、年少人口の割合は 2055 年（令和 37 年）に 5 %を下回ります。

【年齢 3 区分別人口の推移】



【年齢 3 区分別人口割合の推移】



【人口の推移と推計人口】

	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050	2055	2060	2065
合計	12,121	11,069	10,047	9,043	8,059	7,112	6,247	5,448	4,698	3,997
0～4 歳	268	187	171	153	131	103	78	60	49	41
5～9 歳	370	291	204	187	168	145	114	86	67	55
10～14 歳	443	377	297	208	191	172	148	116	88	68
15～19 歳	547	381	323	255	179	164	148	127	100	76
20～24 歳	462	379	264	223	176	123	113	102	88	69
25～29 歳	399	436	360	250	212	168	117	108	97	84
30～34 歳	445	391	420	353	246	208	165	115	106	95
35～39 歳	485	440	385	415	350	244	206	164	114	105
40～44 歳	642	479	434	380	410	347	242	204	162	113
45～49 歳	870	631	470	427	374	404	342	238	201	160
50～54 歳	793	875	634	472	429	376	407	344	240	203
55～59 歳	782	780	860	624	465	422	371	401	339	236
60～64 歳	819	772	770	851	618	460	419	368	398	336
65～69 歳	1,017	789	750	749	830	603	449	409	359	388
70～74 歳	1,326	961	748	712	714	792	576	429	390	343
75～79 歳	894	1,213	884	692	659	664	738	536	399	363
80～84 歳	666	758	1,043	769	607	580	589	655	475	353
85～89 歳	511	503	581	809	607	486	467	476	528	381
90～94 歳	278	299	302	359	511	393	322	306	313	347
95 歳以上	104	126	146	155	183	259	237	204	184	180

※国提供の「人口動向分析・将来人口推計のための基礎データ及びワークシート（令和6年6月版）」による算出結果を掲載しており、小数点以下の数値を有する都合により、合計と5歳階級人口の小計とが一致しない場合がある

< 年齢4階級別人口 >

0～14 歳	1,081	855	672	549	491	420	340	263	204	164
15～64 歳	6,244	5,565	4,921	4,249	3,457	2,916	2,529	2,171	1,846	1,478
65～74 歳	2,343	1,749	1,498	1,461	1,544	1,394	1,025	838	749	731
75 歳以上	2,453	2,900	2,956	2,784	2,567	2,382	2,353	2,177	1,899	1,624

< 年齢4階級別人口割合 >

0～14 歳	8.9%	7.7%	6.7%	6.1%	6.1%	5.9%	5.4%	4.8%	4.3%	4.1%
15～64 歳	51.5%	50.3%	49.0%	47.0%	42.9%	41.0%	40.5%	39.9%	39.3%	37.0%
65～74 歳	19.3%	15.8%	14.9%	16.2%	19.2%	19.6%	16.4%	15.4%	15.9%	18.3%
75 歳以上	20.2%	26.2%	29.4%	30.8%	31.9%	33.5%	37.7%	40.0%	40.4%	40.6%

※四捨五入により、各年齢階級の合計が 100%にならない

7. 目指すべき将来の方向

1) 目標人口

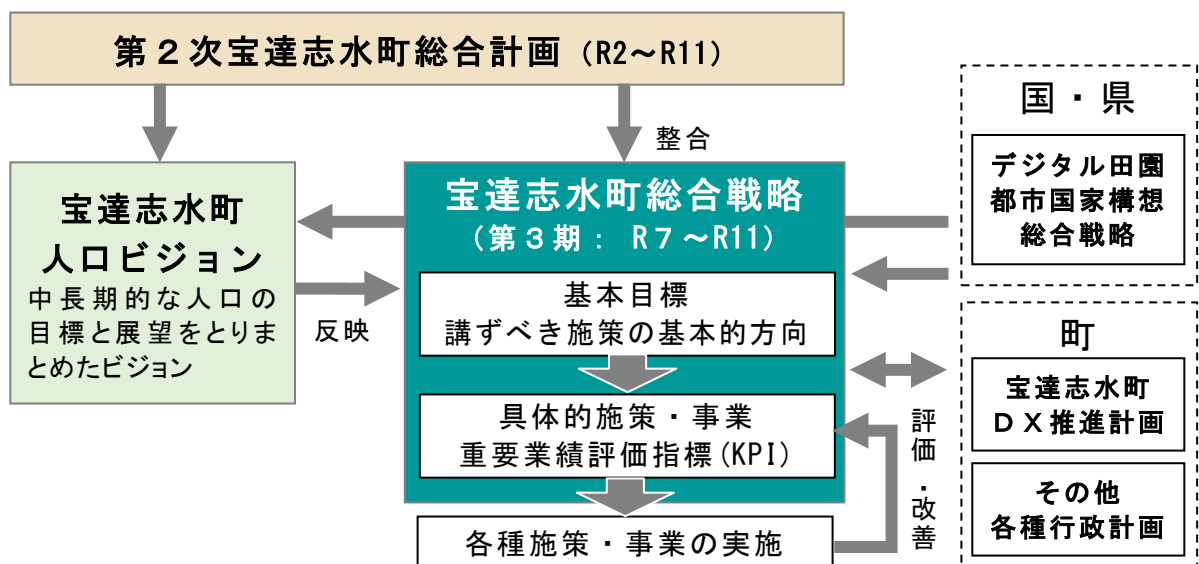
人口ビジョンの目標年次を2065年（令和47年）とし、目標人口を6,000人とします。

本町の目標人口の年次は、2065年（令和47年）とします。総合計画や総合戦略の推進により、若者の定住促進や移住希望者への住環境整備及び子育て支援に関する施策を強化し、若者が育ちみんなが誇れるまちづくりを推進することで、「パターン2（町独自推計）」の水準を確保し、2065年（令和47年）に6,000人を目標とします。

2) 目標人口の実現に向けて

人口ビジョンの実現に向けて、2020年（令和2年）3月に策定した総合計画と2025年（令和7年）3月に策定する総合戦略を推進していきます。これらの対象期間は2029年（令和11年）までとなっており、今後の計画においても人口ビジョンで示す目標人口の実現に向けて、地方創生の施策と事業を拡充し、行政と町民が一丸となって進んでいくこととします。

【総合計画と総合戦略・人口ビジョンの関係イメージ】



参考：第2次宝達志水町総合計画の概要
(まちづくりのテーマ)

人口減少や少子化といった本町の危機的状況を脱するため、町民と行政が一丸となり、

若者や子育て世代が魅力を実感できるまちを目指します。

町民こそが町の「宝」と考え、将来を担う多様な人材を町の総力を挙げて育成することを通じて
全ての人が活躍できるまちづくりを進めます。

【まちづくりのテーマ】

育てよ！ 町の宝

～未来を担う若者が育ち、みんなが誇れるまちづくり～

まちづくりのテーマの実現に向け、3つのサブテーマを設け、施策を展開します。

①町の宝を育てる

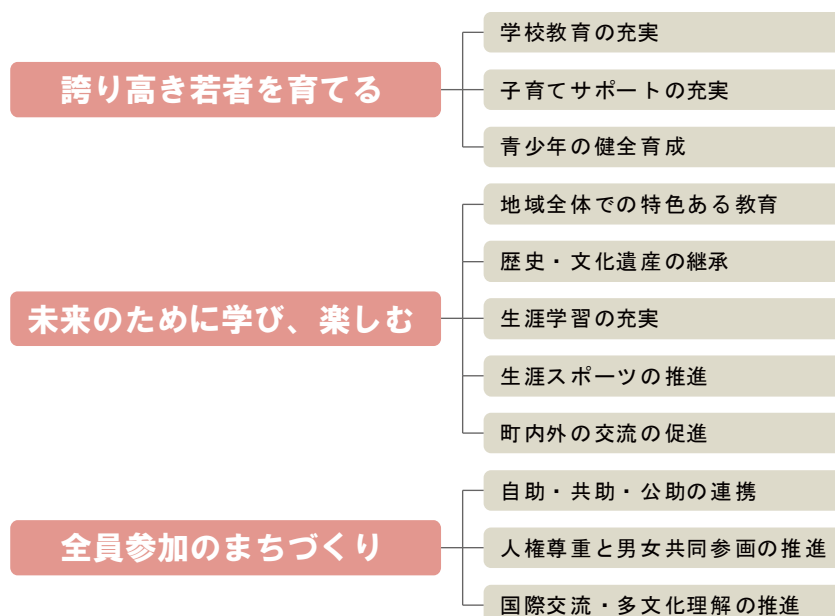
②町の良さを伸ばす

③町の礎を次代につなげる

(施策の体系)

①町の宝を育てる

～郷土愛と夢に向かって飛躍する力を育み、UIターンを促す～



②町の良さを伸ばす

～移住・定住に向けたきっかけ・受け皿を強化する～

住み続けられるまちづくり

- 定住の促進
- 良質な生活基盤の充実
- 環境への取組み
- 交通ネットワークの利便性向上
- 戦略的な土地利用の推進
- 情報・通信基盤の整備

誰一人取り残さない社会福祉

- 健康づくりの推進
- 医療体制の充実
- 高齢者福祉の充実
- 障がい者(児)福祉の充実

③町の礎を次代につなげる

～町の活気を保ち、安全・安心を確保する～

産業の可能性を芽吹かせ育てる

- 農林水産業の振興
- 商工業の振興
- 観光の振興

命を守りやすさあるまちづくり

- 消防・防災減災体制の充実
- 防犯・交通安全対策の充実

持続可能な行政経営の実現

- 持続可能な行政運営の推進
- 財政健全化の推進
- 公営企業の経営健全化